

2021年8月10日～8日

世論調査（読売新聞・NNN、ANN）、野党共闘、核先制不使用、政局、ナガサキ、コロナ・オリンピック

内閣支持率、最低更新35%...読売世論調査

読売新聞 2021/08/09 22:02



菅内閣の支持率は、昨年9月の内閣発足以降の最低を更新した。読売新聞社が7～9日に実施した全国世論調査で、菅内閣の支持率は35%となった。これまでの最低は、前回（7月9～11日調査）と6月調査の37%だった。不支持率は54%（前回53%）で、内閣発足以降最高となった。



菅首相

政党支持率は自民党32%（前回36%）で菅内閣発足以降最低となった。以下、立憲民主党5%（同5%）などで、無党派層は49%（同43%）だった。

菅首相「9月の総裁任期まで」7割、次の首相は石破氏19%・河野氏18%...読売世論調査

読売新聞 2021/08/09 22:00



菅首相

読売新聞社の全国世論調査で、菅首相にどのくらい首相を続けてほしいかを聞くと「すぐに交代してほしい」が18%、「今年9月の自民党の総裁任期まで」が48%で、9月の総裁任期までの交代を求める人は計66%に達し、同じ質問をした6月調査の59%から上昇した。



石破元幹事長

次の首相にふさわしい自民党の政治家は、石破茂・元幹事長が19%で、河野行政・規制改革相が18%、小泉環境相が17%などの順で、菅首相は3%にとどまった。



河野行政・規制改革相

調査は7～9日に実施した。

五輪開催「よかった」64%...読売世論調査

読売新聞 2021/08/09 22:01

読売新聞社が7～9日に実施した全国世論調査で、東京五輪が開催されてよかったと「思う」は64%に上り、「思わない」の28%を大きく上回った。



今回の五輪をどのように開催するのがよかったかについては、「中止した方がよかった」が25%となった。前回調査（7月9～11日）の同様の質問では、「中止する」が41%に上っていた。日本選手の活躍などによって、厳しい見方が和らいだようだ。ただ、今回調査で「もっと観客を入れた方がよかった」は12%にとどまり、「無観客でよかった」は61%だった。



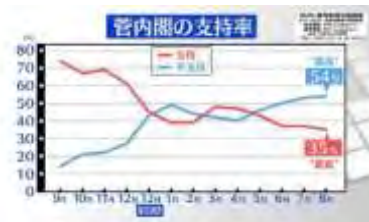
東京五輪の閉会式で、多くの人が集まった国立競技場周辺

五輪を今後も日本で開催してほしいと「思う」は57%で、「思わない」は38%だった。

支持低迷に苦しむ菅首相 世論調査を元に政治部デスクが解説

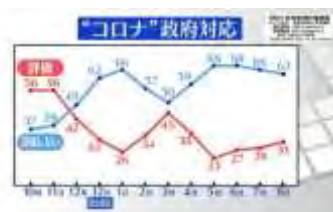
日テレNEWS 8/9(月) 22:07 配信

NNNと読売新聞が8月7日から9日まで行った世論調査で、菅内閣を「支持する」と答えた人は35パーセントで、政権発足以来、最も低くなりました。この世論調査の結果について、政治部の竹内真デスクと詳しく見ていきます。



菅内閣を「支持する」か

——どう分析しますか。支持低迷の原因の1つは、新型コロナウイルスの感染が東京はじめ、各地で広がっていることとみられます。



新型コロナをめぐる政府の

対応は

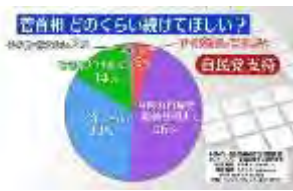
また、新型コロナをめぐる政府の対応への評価も、今年5月以降、一貫して「評価しない」が6割を超え、「評価する」を上回

っています。感染拡大を防げず、4度にわたって、緊急事態宣言を出すことになった政府の対応に、不満があることがみてとれます。それが内閣への支持の低迷につながっているといえそうです。



菅首相 どのくらい続けてほしい?

——菅首相は苦しい状況ですね。そうです。菅首相に「どのくらい首相を続けてほしいか」たずねた結果は、「すぐ交代してほしい」と「今年9月の自民党総裁任期まで」が合わせて66パーセントとなりました。



自民党支持層 菅首相 どのくらい続けてほしい?

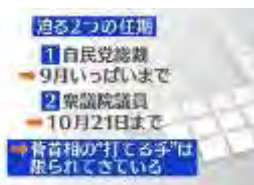
これを自民党支持層に限ってみても、「すぐ交代してほしい」と「今年9月の自民党総裁任期まで」が合わせて51パーセントと、半数を超えているのです。



自民党で次の総理にふさわしい

のは?

——新型コロナへの不満が、菅首相に直結してしまっていますね。そのとおりです。そこで、自民党の政治家の中で、次の首相に誰がふさわしいか、こちらの11人をあげてたずねた結果では、石破元幹事長 19% 河野ワクチン担当相 18% 小泉環境相 17% 安倍前首相 10% 岸田前政調会長 4% 菅首相 3% …の順で、菅首相は6番目と、ここでも苦しい状況です。



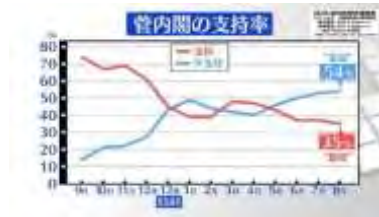
迫る2つの任期

さらに、9月いっぱいまで終わる「自民党総裁の任期」と、10月21日までの「衆議院議員の任期」。この2つの任期が迫る中、感染の拡大と、支持低迷に苦しむ菅総理。打てる手は限られてきていると言えそうです。■NNN・読売新聞世論調査 8/7~9 全国有権者に電話調査 固定電話 424人(回答率61%) 携帯電話 641人(回答率44%) 合計1065人が回答

世論調査 菅内閣「支持」35%...発足以来“最低” 五輪開催「良かった」64%

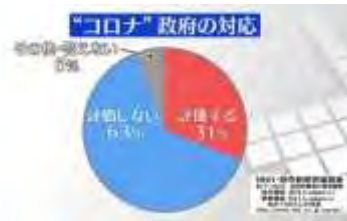
日テレNEWS 8/9(月) 22:00 配信

NNNと読売新聞が8月7日から9日まで行った世論調査で、菅内閣を支持すると答えた人は35%で、政権発足以来、最も低くなりました。



菅内閣の支持率

世論調査で、菅内閣を「支持する」と答えた人は35%で、政権発足以来、最低でした。「支持しない」と答えた人は54%で、政権発足以来、最も高くなりました。



新型コロナめぐる政府の対応は

新型コロナウィルスをめぐる政府のこれまでの対応については、「評価しない」が63%、「評価する」が31%でした。



ワクチン接種めぐる政府の対応は

ワクチン接種をめぐる政府のこれまでの対応については、「評価しない」が58%、「評価する」は38%でした。



東京五輪 開催よかった?

東京オリンピックが開催されてよかったと思うかたずねたところ、よかったと「思う」が64%、「思わない」が28%でした。



東京五輪“安心・安全”に開催

できた? 一方で、菅総理大臣が掲げた「安心・安全」な形で開催できたかについては、できたと「思わない」が55%、できたと「思う」は38%でした。



東京五輪 どう開催するのが

よかった？

また、ほとんどの会場で無観客で開催されましたが、どう開催するのがよかったか、たずねたところ、「無観客でよかった」が最も多く 61%、「中止した方がよかった」が 25%、「もっと観客を入れた方がよかった」が 12%でした。

記事にリアクションしてみませんか？

菅内閣「支持率 28%」危険水域に 五輪開催も…

ANN2021/08/09 18:30

最新の世論調査で菅内閣の支持率が 30%を割り込みました。来月末にも行われる自民党総裁選に影響を与えるのでしょうか。

76 回目の原爆の日を迎えた長崎県で菅総理大臣があいさつに立ちました。

菅総理大臣：「唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の努力を一步ずつ着実に前に進めていくことは我が国の変わらぬ使命です」

広島では読み飛ばした部分もしっかり読んだ菅総理。式典後の記者会見では 8 日に閉幕した東京オリンピックについて、こう振り返りました。

菅総理大臣：「様々な制約のもとでの大会となりましたけれども、開催国としての責任を果たして、無事に終えることができたと思っています」

開幕前、与党内には「開催されればムードが変わる」との期待感もありました。

確かに、この土日に実施された朝日新聞の世論調査では「開催して良かった」という声は 56%に上っています。

しかし、菅内閣の支持率は前回より 3 ポイント下がって政権発足後、最低の 28%。30%を割り込み、政権維持の「危険水域」に突入しました。

注目されるのが来月末に切れる菅総理の自民党総裁任期です。

自民党・二階幹事長：「むしろ、しっかり続投して頂きたいと思う声の方が国民の間にも党内にも強いのではないかと」

自民党の二階幹事長は先日、総理以外の立候補を牽制（けんせい）しましたが、すでに野田幹事長代行と高市前総務大臣の 2 人は出馬に意欲を見せています。

一方、去年の総裁選にも出たこの人は…。

自民党・岸田前政調会長：「従来通りチャンスがあれば、総裁選挙には挑戦したい。これから、いよいよ具体的な日程が確定すれば、具体的な関わり方を決めたいと思います」

総裁選の日程は 26 日に決まる予定です。

「五輪は目くらまし」内閣支持率最低で自民党内に焦り

朝日新聞デジタル 2021 年 8 月 9 日 19 時 08 分



閉会式の最後に花火が打ち上げられ、電

光掲示板に「ARIGATO」の文字が表示された。右下は聖火が消えた聖火台=2021 年 8 月 8 日、国立競技場、池田良撮影



朝日新聞の世論調査（7、8 両日）で菅内閣の支持率が 28%と発足以来最低に下がったことを受け、自民党内からも菅首相に対する厳しい意見が相次いだ。政権が浮揚策として期待した東京五輪は 8 日に閉幕。自民党のベテラン議員は「今までは、五輪が目くらましになってきたからまだ良かった」と漏らし、五輪がなければさらに批判が強まっていたとの見方を示した。

立憲民主党の蓮舫代表代行は朝日新聞の取材に「いくら五輪が盛り上がりつつも内閣支持率にはつながらない」と指摘。同党の新型コロナ対策本部長の逢坂誠二氏も「感染者が急増する中、合理的な説明もなく五輪を強行したことへの国民の不満の表れ」と批判した。

特に、菅義偉首相に対する有権者の目は厳しさを増している。

自民党の中堅議員は「有権者は首相に嫌気がさしている」とし、閣僚経験者も「地元で誰も菅さんをよく言わない」と語る。

そのため、9 月末の総裁任期満了に伴う総裁選の行方にも影響が出かねない状況だ。

選挙の基盤が弱い若手は「無投票はあり得ない。誰か出さないと」と焦りを隠さない。

内閣支持率は下落しているものの、自民党支持率は 32%で 5 月以降横ばいが続いている。衆院選比例区投票先としての自民も 35%だ。

こうした数字を踏まえ、首相周辺は「内閣支持率が下がる一方で政党支持率が堅調。ならば『選挙の顔を変えろ』となる。これまでは無投票で再選できればと考えていたが、そうはいかないかもしれない」と危機感を募らせる。首相を支えるベテランも「総裁選となればこれまでくすぶっている首相への不満が噴き出す。だから（総裁選をさせないために）9 月に解散するんじゃないか」という話も出ている」と語る。

ただ、「ポスト菅」としての有力候補は今のところ見当たらない状況が続いている。最大派閥の細田派の細田博之会長は 8 日、松江市で会見し、菅首相の再選を支持する考えを示した。

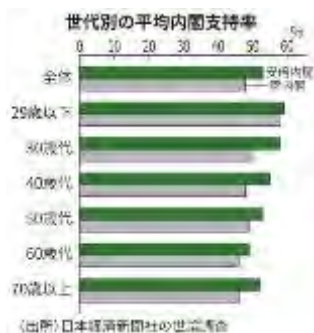
一方、野党第 1 党の立憲民主党は伸び悩んでいる。政党支持率は 6%、比例区投票先も 15%にとどまる。

立憲幹部は「野党が批判の受け皿になりきれていない」と語る。同党若手議員も「政府はいい加減にしろという雰囲気は強まるのに、『立憲がんばれ』とはならない。誰がやっても同じだという諦めの空気がある」と語った。野党にとっても、「浮揚策」は見当たらない。そのため党幹部はこう漏らした。「菅さんのままで選挙に突入することが好都合。誰か新しい総裁で選挙をされる方

がつらい」

安倍・菅内閣、若年層ほど高い支持率 最低は60歳代 チャートで読む政治 世論 (3)

日経新聞 2021年8月9日 11:30



過去の日本経済新聞社の世論調査を分析すると内閣支持率にある傾向が見える。2012年12月の政権交代以降、安倍晋三内閣も菅義偉内閣も若年層の支持率が高い。

12年12月からの安倍内閣と20年9月からの菅内閣について、世論調査で「支持する」と答えた人の割合を調べた。安倍内閣は平均で53%だった。世代別で最高は29歳以下(対象は16年3月までで20~29歳、同年4月以降は18~29歳)の59%だ。

70歳前までは上の世代ほど支持率が低くなる。30歳代は58%、40歳代は55%、50歳代は平均と同じ53%。60歳代は全世代で最低の49%で、70歳以上は52%になった。

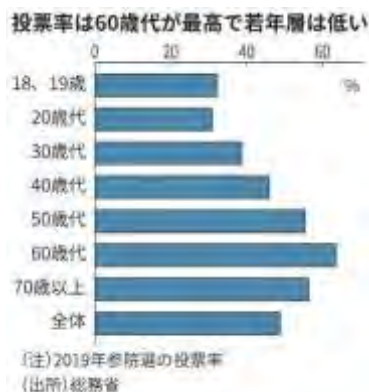
菅内閣は直近の調査の21年7月までで平均は48%だった。最も高い世代は29歳以下で58%、最低は60歳代と70歳以上の46%で、世代別の特徴は安倍内閣と似ている。

当初からこうした傾向があったわけではない。第2次安倍政権が発足した直後の12年12月の調査では30歳代の支持率は53%と、全世代平均の62%を9ポイント下回っていた。最も支持が高かったのは71%を記録した70歳以上だった。

なぜその後に若年層の支持率は上がったのか。「働く世代が経済面の恩恵を感じたから」との指摘がある。

安倍内閣の経済政策「アベノミクス」を経て、完全失業率は12年の4.3%から19年には2.4%まで下がった。菅内閣では携帯電話料金の引き下げや不妊治療への支援拡充などを進める。雇用や生活に関わる政策は現役世代が評価する。

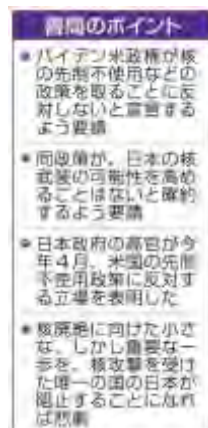
世論を反映する選挙はどうか。直近の大型国政選挙である19年参院選で世代別の投票率を見ると、最も高いのは60歳代の63.58%。全体の平均の48.80%を15ポイント近く上回る。



29歳以下は3割台前半、30歳代も38.78%にとどまる。50歳代や70歳以上は50%台だ。

60歳代の人口は1500万人ほど。1200万人弱の20歳代、1300万人程度の30歳代より多い。世論調査で世代別の支持率が最低の60歳代は、選挙では人数が多い上に投票率も高い。選挙だけを考えれば「支持率が低く、票に直結する60歳以上」に目が行きがちだ。一方で日本の財政は余裕が乏しい。受給世代の高齢者を重視する「シルバー民主主義」に傾くのは現実的ではない。支持率と選挙の両立は難しい。

核の先制不使用、受け入れを 元米高官らが日本側に書簡 2021/8/9 20:20 (JST)8/9 22:36 (JST)updated 共同通信社



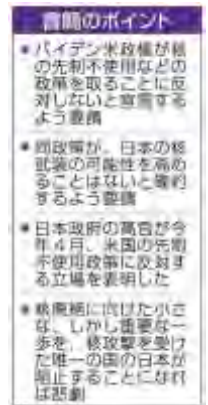
書簡のポイント

ペリー元米国防長官や元ホワイトハウス高官など核軍縮の専門家らが長崎原爆の日の9日、バイデン米政権が検討を進めている「核の先制不使用」を軸とした政策の採用に反対しないと宣言するよう求める公開書簡を、菅義偉首相をはじめ、日本の主要政党党首に送った。

「核なき世界」を掲げたオバマ元政権が2016年に先制不使用を検討した際、日本など一部同盟国の反対で断念した経緯がある。書簡は「核廃絶に向けた小さな、しかし重要な一歩を、核攻撃を受けた唯一の国の日本が阻止することになれば悲劇だ」と賛同を促した。

バイデン政権は新たな核戦略指針の策定を来年初めにも終えるとみられる。

核の先制不使用、受け入れを 元米高官らが日本側に書簡 東京新聞 2021年8月9日 20時20分 (共同通信)



書簡のポイント

ペリー元米国防長官や元ホワイトハウス高官など核軍縮の専

門家らが長崎原爆の日の9日、バイデン米政権が検討を進めている「核の先制不使用」を軸とした政策の採用に反対しないと宣言するよう求める公開書簡を、菅義偉首相をはじめ、日本の主要政党党首に送った。

「核なき世界」を掲げたオバマ元政権が2016年に先制不使用を検討した際、日本など一部同盟国の反対で断念した経緯がある。書簡は「核廃絶に向けた小さな、しかし重要な一歩を、核攻撃を受けた唯一の国の日本が阻止することになれば悲劇だ」と賛同を促した。

バイデン政権は新たな核戦略指針の策定を来年初めにも終わるとみられる。

衆院選へ「協議」始まらず 動かぬ立民、共産が揺さぶり

時事通信 2021年08月09日07時37分



会談に臨む（左から）共産党の小池晃書記局長、志位和夫委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、福田哲郎幹事長＝4月27日、国会内

秋の衆院選に向けて開始するはずの立憲民主党と共産党の協議が4月の合意後、一度も行われていない。保守層の離反を懸念する立民が敬遠し続けているのが原因だ。しびれを切らす共産党は、独自候補の擁立を再開するなど立民への揺さぶりを掛け始めた。

「政権交代という覚悟を示すような公党間の話し合いが行われるべきだ。早く議論したい」。共産党の田村智子政策委員長は6日の記者会見で、立民側の動きの鈍さにいら立ちを隠さなかった。

というのも、立民の枝野幸男代表は、野党候補が全勝した4月の3補欠選挙・再選挙直後の党首会談で、「総選挙の（候補）一本化に向けた協力の在り方について話し合いを始めたい」と表明。志位和夫委員長と衆院選の在り方に関する協議を始めることで一致していたからだ。

共産党幹部は「協議は7月の東京都議選後に始まる」と想定。具体的には、(1)共通政策(2)政権の在り方(3)選挙協力の順で話し合いを進めていく段取りを描いていた。

ところが、都議選後、立民側から協議の呼び掛けは一切ない。政策協議を例に取っても、立民幹部は「現時点で上から何の指示もない」と明かした。

背景には、枝野氏が共産党との共闘に否定的な連合の意向を無視できないことがある。枝野氏は「協議開始」を口にしたものの、共産党との関係を深めれば連合の反発を招きかねないとのジレンマを抱える。

ただ、政策の擦り合わせが進まなければ、選挙区調整は困難だ。すみ分けをしても「野合批判」を受ける可能性がある。一方、協議の遅れは共産党の選挙準備にも影響を及ぼす。

腰の重い立民を刺激するかのように、共産党は都議選以降、新たに4人の候補を、立民現職にぶつける形を含めて擁立。逆に都議選で共産党候補の当選に尽力した立民現職に対しては、競合候補を比例代表東京ブロックに回す配慮を示している。

共産党幹部は「わが党はこの選挙区でも擁立する権利がある。これ以上、立てないと決めたわけではない」と語り、立民の動きを促した。

産経新聞 2021/8/9 19:05

首相、薄氷の五輪成功 政権浮揚効果は限定的

政府が国家の威信をかけて開催にこだわった東京五輪が幕を閉じた。新型コロナウイルス禍から大半の競技が無観客となり、当初目指した「完全な形」とはならなかったが、大会が大規模な感染拡大を招いた例はこれまで確認されず、成功裏に終えたといえる。ただ、国内のワクチン接種の遅れは無観客化の遠因となり、政権の浮揚効果は限られた。菅義偉（すが・よしひで）首相にとっては「薄氷の成功」だった。

動いた首相官邸

「さまざまな制約の下での大会となったが、開催国としての責任を果たし、無事に終えることができた」

首相は9日、訪問先の長崎市で行った記者会見でこう語り、五輪開催の意義を強調した。焦点だった感染対策も「日本だからできたとの評価も聞かれる」と総括してみせた。

7月21日付の米有力紙ウォールストリート・ジャーナルのインタビューでは「（五輪を）やめるのは一番簡単、楽なことだ」と苦悩していただけに、ひとまず胸をなでおろしている。

周囲から何度も開催中止を助言された首相にとっては薄氷を踏む思いだった。首相は「主催はIOC（国際オリンピック委員会）、東京都」と繰り返したが、大会組織委員会の判断に首相官邸が介入する場面もあった。

開会式で楽曲制作担当だった小山田圭吾氏の過去のいじめをめぐる問題では、丸川珠代五輪相が組織委に対処を要求。開会式前日に「ショーディレクター」を務める小林賢太郎氏のユダヤ人大量殺害を題材にしたコントが問題視されると、即座にイスラエル政府などと連絡を取り合い、組織委に解任を求めた。

消えた「完全な形」

大会への道のりは、コロナとの戦いそのものだった。安倍晋三前首相は昨年3月に大会の1年延期を決めた際、「人類がウイルスに打ち勝った証しとして完全な形」と強調したが、今年1月の施政方針演説では菅首相の原稿から「完全な形」という文言が消えた。

安倍氏の念頭には今春までにワクチン接種が進むとの見立てがあった。しかし、実際は輸入交渉の難航などで開会式までに高齢者への接種をおおむね終えるにとどまった。政府関係者は「完全な形での開催が無理なのは明白だったので、演説の文言も見直さざるを得なかった」と明かす。

大会が近づくにつれ中止を求める声は大きくなった。4月に行われた産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）の合同世論調査では「中止」と「再延期」が計74.4%を占めた。

「バッハ会長も感染状況は関係ないと明確に言っている。予定通り進めたい」。4月下旬、首相は産経新聞のインタビューにこう答えた。自信を裏打ちしていたのは、入国した選手や関係者を隔離する「バブル方式」の徹底と、選手らへのワクチン接種の進展だ。

「ぐだぐだ」な判断

批判の大合唱の中で閉会式を迎える事態を回避できたのは、防疫態勢が機能したことが大きい。立憲民主党の枝野幸男代表は、コロナ禍の五輪開催が「変異株の展示会になる」などと懸念したが、訪日した約4万3千人の選手や関係者に対する空港での検査の陽性率は0・1%程度。入国後も頻繁な検査で新規感染者を即座に隔離でき、拡大は防いだ。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は「五輪は人流増加のリスクがある」と懸念したが、期間中の人流はテレビ観戦の増加などでむしろ減少した。ただ、観客をめぐる判断は迷走した。茨城、宮城、静岡の各県を除く大半で完全無観客となり、その判断は各都道府県知事に丸投げされた。ある閣僚は「統一的な判断ができず、ぐだぐだだった」と振り返る。

五輪に臨む首相の覚悟は届いたのだろうか。大会は日本選手団の活躍などで沈着していた国民の心を鼓舞した。ある閣僚経験者は「中止を求めた野党が政権を握っていたら、あの感動はなかった」と語る。ただ、ワクチン接種の遅れで国内の感染状況をコントロールできず、国民の不安感は十分払拭できなかった。秋に迫る衆院選に向けた課題は多い。

(市岡豊大、岡田美月、水内茂幸)

首相、追加経済対策策定を近く指示 1次補正30兆円規模に 産経新聞 2021/8/9 17:03 永田 岳彦

新型コロナウイルスの深刻な感染再拡大を受け、菅義偉（すが・よしひで）首相は近く、コロナ対応と経済の下支えに向けた追加経済対策の策定を指示する。財源となる令和3年度1次補正予算案は30兆円規模の見込み。ただ、3回の補正を編成した2年度予算は自治体での作業の遅れなどの結果、約2割に相当する30兆7804億円が未消化のまま繰越金となっており、追加経済対策では迅速な支援が課題だ。

追加経済対策は衆院解散・総選挙を目前に控えた9月上旬をめどに大枠をまとめる。裏付けとなる1次補正は選挙後の臨時国会で成立させる流れだ。日本経済の潜在的供給力と需要の差を示す需給ギャップ（GDPギャップ）は7月時点で25兆円あると指摘され、与党幹部からは繰越金の一部を組み込んで30兆円規模の予算を求める声が相次ぐ。

昨年12月に経済対策と2年度3次補正をまとめた際にも34兆円のGDPギャップが指摘され、財政支出で総額40兆円の大型対策につながった。ただ、計上した予算の大半は執行されずに繰り越され、需要不足の解消に結び付いていない。

多額の繰り越しは、必要なお金が必要な場所へ届いていないことを意味する。特に営業時間短縮要請に応じた飲食店への協力金は支給の遅れが目立ち、原資となる地方創生臨時交付金は3兆3115億円も残っている。公共事業関係費も、慢性的な人手不足の影響もあって4兆6937億円を繰り越し、一部の事業は消化のめどがたっていない。

このため帝国データバンクが集計した6日時点のコロナ関連倒産1865件のうち最多は飲食店（311件）で、次に建設・工事業（185件）が続く。選挙狙いで目新しい事業を打ち出すより、「必要な支援をいかに迅速に届けるかに注力すべき」（野村総研の木内登英エグゼクティブ・エコノミスト）状況といえる。変異株が猛威を振るう中で医療体制も再び逼迫（ひっぱく）して

いる。SMB C日興証券の宮前耕也シニアエコノミストは追加経済対策が「昨年末に打ち出した補助金の拡充が中心になる」と予想し、手詰まり感を指摘する。

(永田岳彦)

「被爆体験者」の救済を 被爆5団体、菅首相に要望—長崎 時事通信 2021年08月09日14時47分



菅義偉首相（左端）と面会し、要望書を手渡す被爆者団体の代表ら＝9日午後、長崎市（代表撮影）

菅義偉首相（左端）と面会し、要望書を手渡す被爆者団体の代表ら＝9日午後、長崎市（代表撮影）

長崎の被爆者5団体は9日午後、長崎市内のホテルで菅義偉首相らと面会し、原爆投下時、国が定める被爆地域外にいたため被爆者と認定されない「被爆体験者」の救済などを要望した。

長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長（81）は「広島が求めて来た『黒い雨』の要望は、長崎の被爆体験者と全く同趣旨だ」と述べ、「広島同様の政治的決断を長崎にもお願いする」と訴えた。

田村憲久厚生労働相は「被爆地域の指定は、科学的、合理的根拠がある場合に限定して行うべきとされている」と回答。菅首相は「被爆者の方々が高齢化している中、ご要望を踏まえ、原爆症の認定審査を迅速化するのには当然の話だ」と述べるにとどめた。

面会后、川野議長は「もう少し具体的な、われわれが期待するようなものが出てくると思っていた」と落胆した様子で述べた。

首相に被爆体験者の救済要望 厚労相「科学的知見ない」

2021/8/9 18:19 (JST)共同通信社



菅首相（左端）に要望書を手渡す被爆者団体の代表ら＝9日午後、長崎市

長崎の被爆者でつくる5団体の代表者らは9日、長崎市で菅義偉首相と面会し、国の指定地域外で原爆に遭い被爆者と認められていない「被爆体験者」の救済を要望した。菅首相は回答せず、同席した田村憲久厚生労働相が「現在の被爆地域より広い範囲で、健康に問題がある放射線被ばくがあったとの科学的知見は得られていない」と述べた。

長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長（81）は、広島原爆の「黒い雨」訴訟原告と「同じような事情にあった」人の救済を検討する政府方針を挙げ「長崎にも政治的決断を」と同時救済を訴えた。面会后の取材には「ゼロ回答に近い」と憤った。

長崎原爆76年、核廃絶希求 禁止条約「署名考えず」と首相

2021/8/9 17:10 (JST)8/9 17:11 (JST)updated 共同通信社



被爆から76年の原爆の日を迎え、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参加する人々

犠牲者慰霊平和祈念式典で放たれたハト＝9日午前、長崎市の平和公園（代表撮影）

長崎は9日、米国による原爆投下から76年を迎え、長崎市松山町の平和公園で「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が営まれた。田上富久市長は平和宣言で1月発効の核兵器禁止条約を「世界の共通ルールに」と訴え、政府に署名・批准を迫った。国の指定地域外で長崎原爆に遭った「被爆体験者」の救済も要請。菅義偉首相は式典あいさつで「唯一の戦争被爆国」として核廃絶を目指すとしたが、記者会見では「条約に署名する考えはない」と改めて明言した。

松井一実広島市長も6日の宣言で条約参加を求めており、両被爆地との意識の隔たりが一層鮮明になった。63カ国や、国連・EUの代表者らも出席した。



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、原爆

投下時刻に合わせ黙とうする参列者＝9日午前11時2分、長崎市の平和公園（代表撮影）



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、平和宣言を読み上げる長崎市の田上富久市長＝9日午前、長崎市の平和公園（代表撮影）



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、「平和への誓い」を読み上げる岡信子さん＝9日午前、長崎市の平和公園（代表撮影）



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、あいさつする菅首相＝9日午前、長崎市の平和公園（代表撮影）



高校生平和大使らが原爆落下中心地碑を囲む「人間の鎖」。新型コロナウイルスの感染拡大防止のためリボンを介して輪になった＝9日午前、長崎市の爆心地公園

核廃絶へ、目そらす国 それでも被爆者が首相に会う理由 朝日新聞デジタル米田悠一郎 2021年8月9日 12時00分



安倍晋三首相（当時）に「あなたほど

この国の総理ですか」と問いかけ、要望書を手渡す川野浩一さん（右から5人目）＝2017年8月9日午後0時23分、長崎市、福岡亜純撮影



戦後、被爆者らは自ら、国の援護策拡大を求め、核廃絶を訴える運動を作り上げてきた。当事者による訴えの切実さは、国や国際社会を動かすテコになった。今、高齢化や団体の活動基盤の弱体化が進み、運動は岐路を迎えている。その果たしてきた役割を振り返り、今後の展望を探る。

2017年8月9日、長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会議長の川野浩一（81）は長崎市内のホテルで、首相の安倍晋三（当時）と向き合った。被爆者5団体でまとめた要望書を手渡すためだ。

例年ならただ手渡すところ、川野はじつと安倍の目を見つめて口を開いた。「あなたはこの国の総理ですか、私たちをあなたは見捨てるのですか」。安倍の頬が赤らみ目が泳いだように見えた。川野はたたみかけるように訴えた。「今こそわが国が、あなたが、世界の核兵器廃絶の先頭に立つべきです」。安倍はその後、川野と目を合わせることなく会場を後にした。

激しい言葉は、その年に国連で採択された核兵器禁止条約に背を向ける政府への怒りからだ。原爆投下による惨禍を世界で唯一経験したにもかかわらず、米国の「核の傘」の下にあることを理由に採択・批准しようとしぬ。日本が核廃絶の先頭に立たんといかんでしょう。当時を振り返る川野の言葉が、再び熱を帯びた。

平和祈念式典で長崎を訪れた首相や厚生労働相への「被爆者団体からの要望」を、長崎市内に拠点を置く被爆者5団体の代表がそろい、連名で行うようになったのは1991年から。ただ、国から返事が来たことは一度もない。

川野は、国が毎年、要望を受…
残り：605文字／全文：1134文字

核禁止条約、早期批准訴え 長崎「最後の被爆地に」―76回目の原爆の日

時事通信 2021年08月09日 18時14分



原爆が投下された午前11時2分に合わせ

て黙とうする参列者＝9日、長崎市



長崎は9日、76回目の原爆の日を迎えた。長崎市松山町の平和公園で、「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」（平和祈念式典）が営まれ、被爆者や遺族、菅義偉首相ら約500人が参列し、犠牲者に黙とうをささげた。田上富久市長は平和宣言で、1月に発効した核兵器禁止条約の早期批准を政府に求めた。

式典は、新型コロナウイルス対策のため昨年同様、参列者席を例年の1割程度とし、開式前の被爆者による合唱を中止するなど規模を縮小した。核保有国を含む63カ国や国連、欧州連合（EU）の代表らも出席。原爆投下時刻の午前11時2分、鐘の音に合わせて1分間黙とうした。

田上市長は平和宣言で、「核兵器による惨禍を最もよく知るわが国だからこそ、核兵器禁止条約を育てる道を探ってください」と述べ、条約の早期批准とともに、第1回締約国会議にオブザーバーとして参加するよう政府に要望。核保有国間の軍拡の動きに危機感を表明し、世界の核軍縮のため、米ロにさらなる核兵器削減を訴えた。

その上で、「広島が『最初の被爆地』という事実によって永遠に歴史に記されるとすれば、長崎が『最後の被爆地』として歴史に刻まれ続けるかどうかは、私たちがつくっていく未来によって決まる」と呼び掛けた。

続いて、被爆者代表の岡信子さん（92）が「平和への誓い」を読み上げた。

菅首相はあいさつで「各国が相互の関与や対話を通じて不信任を取り除き、共通の基盤の形成に向けた努力を重ねることが必要」と述べ、「核兵器使用の惨禍に関する記憶を受け継いでいく取り組みを継続していく決意だ」と語った。核兵器禁止条約には言及しなかった。

式典では、被爆者や遺族らが7月末までの1年間に新たに死亡が確認された3202人の名簿を奉安し、犠牲者に水と生花をささげた。死没者数は18万9163人となった。

式典には米ロ英仏中とインド、イスラエルの核保有国7カ国の代表が出席。パキスタンは欠席した。

76回目「長崎原爆の日」...市長が核兵器禁止条約への署名・批准求める

読売新聞 2021/08/09 11:25



「原爆落下中心地碑」に向かい黙とうする

長崎原爆被災者協議会被爆二世の会の会員ら（9日午前、長崎市の爆心地公園で）＝久保敏郎撮影

長崎は9日、76回目の「長崎原爆の日」を迎えた。長崎市の平和公園では長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が営まれた。新型コロナウイルスの影響で、昨年が続いて規模縮小となり、被爆者

や遺族の代表、菅首相ら約500人が参列。原爆投下時刻の午前11時2分に「長崎の鐘」が鳴らされ、全員で黙とうをささげた。

田上富久市長は「長崎平和宣言」で、日本政府に対し、今年1月に発効した核兵器禁止条約への署名・批准と締約国会議へのオブザーバー参加を求めた。国が定めた被爆地域外で原爆に遭った「被爆体験者」の救済も要望した。

式典では、7月末までの1年間に死亡が確認された3202人の名前を記した原爆死没者名簿3冊が奉安された。これで名簿は計194冊、死没者数は累計18万9163人となった。

長崎 田上市長 “条約への署名・批准と「被爆体験者」救済を” NHK2021年8月9日 14時00分

長崎に原爆が投下されて9日で76年です。

長崎市の田上市長は平和祈念式典の平和宣言で政府に対し、核兵器禁止条約への署名・批准に加え「被爆体験者」の救済などを求めました。



長崎市の平和公園で行われた平和祈念式典には、被爆者や遺族、菅総理大臣のほか、63カ国の代表などが参列しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、式典は2年連続で規模が縮小され、例年の1割ほどにあたるおよそ500人が参列しました。

式典ではこの1年に亡くなった被爆者など合わせて3202人の名前が書き加えられた18万9163人の原爆死没者名簿が納められました。

そして、原爆がさく裂した午前11時2分に黙とうをささげました。

長崎市の田上市長は、平和宣言でことし1月に発効した核兵器の開発や製造、使用などを全面的に禁じる核兵器禁止条約について触れ「この生まれたての条約を世界の共通ルールに育て、核兵器のない世界を実現していくためのプロセスがこれから始まります。核兵器による惨禍を最もよく知るわが国だからこそ、第1回締約国会議にオブザーバーとして参加し、核兵器禁止条約を育てるための道を探ってください。1日も早く条約に署名し、批准することを求めます」と訴えました。

そのうえで、田上市長は、被爆者の高齢化が進む中、援護の充実に加え、国が被爆者と認定する地域の外にいた「被爆体験者」の救済を求めました。

また自身もけがを負いながら、看護学生として被爆者の救護にあたった岡信子さんは、被爆者を代表し「平和への誓い」で、「大きなトラックの荷台に角材を積み重ねるように遺体を投げ入れていました。解剖室へ運ばれる遺体もあり、胸から腹にわたりウジだらけになっている遺体を前に思わず逃げ出そうとしました。その時、『それでも救護員か！』という衛生兵の声でわれに返り頑張りました。私たち被爆者は命あるかぎり語り継ぎ、核兵器廃絶と平和を訴え続けていくことを誓います」と述べました。

一方、菅総理大臣は「唯一の戦争被爆国として、『核兵器のない世界』の実現に向けた国際社会の努力を一步ずつ、着実に前に進

めていくことは、わが国の変わらぬ使命です。政府としては、次回 NPT＝核拡散防止条約の運用検討会議において意義ある成果を収めるべく、核軍縮に関する『賢人会議』の議論等の成果も生かして各国が共に取り組むことのできる具体的な措置を見いだす努力を引き続き粘り強く続けて参ります」と述べました。「平和への誓い」岡信子さん「核兵器廃絶と平和 訴え続ける」



平和祈念式典で被爆者を代表して「平和への誓い」を述べたのは16歳で被爆し、自身もけがをしながら、看護学生として被爆者の救護にあたった岡信子さん（92）です。

岡さんは16歳のとき、爆心地から1.8キロ離れた今の長崎市住吉町の自宅で被爆し、爆風で吹き飛ばされ、左半身にはガラス片が飛び、けがをしました。

看護学生だった岡さんは、被爆から3日後、小学校に設けられた臨時の救護所に動員されました。

「平和への誓い」の中で岡さんは、脚の傷にウジがわき、キリで刺すように痛む中、次々と運び込まれる被爆者の救護に不眠不休であたったみずからの体験を語り、原爆の惨状を訴えました。

岡さんは、これまで平和活動に携わったり、みずからの体験を語り続けた経験はほとんどなく、9日初めて、平和祈念式典に参列しました。

岡さんは「平和への誓い」で核兵器の開発、製造、保有、使用を全面的に禁じる核兵器禁止条約がことし1月に発効したことについて「一人一人の小さな声が世界中の大きな声となり、若い世代が受け継いでくれたから」と述べました。

そして「命あるかぎり、核兵器廃絶と平和を訴え続ける」と核兵器廃絶に向けて、決意を新たにしました。

被爆体験者も祈りささげる



「被爆体験者」に被爆者健康手帳を交付するよう求める集団訴訟の原告団長を務める被爆体験者の岩永千代子さんは、長崎市の自宅で、原爆がさく裂した午前11時2分になると、いすから立ち上がり、手を合わせて祈りをささげました。

岩永さんは「原爆で多くの人が苦しんで亡くなりました。核兵器は人間が作り出してしまったもので、難しいことかもしれませんが、やり直してほしい」と話していました。

また、岩永さんは、政府が広島をいよめる「黒い雨」の判決めぐり、上告せず、原告に被爆者健康手帳を交付することを決めたことについて「広島の原告の84人が手帳を受け取ったこと、内部被爆者が認められたことが、大きな明かりだと思います。長崎でも、半径12キロ以内を被爆地と認めてほしい。手帳という補償以上に心の問題です」と話していました。

被爆体験者 松田夫妻「ただ被爆者と認めてほしいだけ」



国が被爆者と認定する地域の外にいた「被爆体験者」で、被爆者健康手帳の交付を求めて裁判を続けている長崎市の松田宗伍さん・ムツエさんの夫妻は、長崎に原爆が投下されたとき、爆心地から半径12キロの内側にいたにもかかわらず、被爆者とは認定されず、被爆後から心臓の病気や体調の不良が続いていると訴えています。

松田さん夫妻は、9日長崎で原爆がさく裂した午前11時2分に合わせてサイレンが鳴ると、自宅で並んで座り、静かに手を合わせて祈りをささげました。

宗伍さんは、涙をにじませながら「原爆で亡くなった兄のことを思って手を合わせた。こんなに長い間裁判を続けることになり、『原告が亡くなるのを待っているのではないか』とってしまう。私たちは、お金や何かが必要なのではなく、ただ被爆者と認めてほしいだけ」と話していました。

また、ムツエさんは「一刻も早く、私たちが被爆者と認める平等な司法判断を出してほしい」と話していました。

「被爆体験者」とは



国は長崎に原爆が投下されたとき、「被爆者」と認定する地域の外にいた人については爆心地から半径12キロの内側にいた場合は「被爆体験者」として認定し、国が原爆が原因とみられる疾患の医療費の一部を負担する救済制度を19年前の平成14年に設置しました。

被爆体験者はことし3月の時点で長崎県内に6425人います。

一方、被爆体験者の間にはほとんどの医療費を国が負担する被爆者の救済制度と比べて、被爆体験者のための救済制度は手薄だとし、不満や不公平感もあります。

一部の被爆体験者は平成19年以降、自分たちも「被爆者」と認定して被爆者健康手帳を交付するよう求めた集団訴訟を起こし、現在も裁判が続いています。

ICAN 川崎哲さん「条約に入ること 真剣に考えてもらいたい」



式典に参列した ICAN＝核兵器廃絶国際キャンペーンの川崎哲国際運営委員は「核兵器禁止条約が発効し、核兵器廃絶に向けた新たな時代の最初の8月9日となり、これからが大事だという気持ちを新たにす式典になった。皆さんが日々条約の発効について話している核兵器の廃絶に向かっているという変化を感じた。国会議員や有権者、政府代表に日本が条約に入ることについて真剣に考えてもらいたい」と話していました。

長崎「被爆体験者」救済 首相「訴訟を注視」 式典で触れず 毎日新聞 2021/8/9 17:40 (最終更新 8/9 20:34)



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典後、記者会見する菅義偉首相＝長崎市内のホテルで2021年8月9日午後1時34分(代表撮影)

米軍が長崎市に原爆を投下して76年の9日、同市の平和公園で平和祈念式典が開かれた。核兵器の保有などを全面的に禁じる核兵器禁止条約が今年1月に発効して初めての「長崎原爆の日」で、菅義偉首相は2020年9月の就任後、初めて参列。式典では同市の田上富久市長らが政府に対し、条約への署名・批准や国が被爆認定していない「被爆体験者」の救済を求めたが、首相は昨年までの安倍晋三前首相と同様、式典でどちらにも触れなかった。

式典は新型コロナウイルス感染防止のため、20年に続いて規模を縮小。一般席は設けず、参列は被爆者や遺族の代表など例年の1割の500人に制限した。各国駐日大使は代理を含め核保有国の米国、中国、ロシアなど63カ国が参列した。

田上市長は式典で今年の「長崎平和宣言」を読み上げ、核保有国の間で依然として核兵器開発競争が続いている現状を指摘。米国の「核の傘」の下で核禁条約に署名・批准していない日本政府に対し、第1回締約国会議(ウィーンで22年開催予定)へのオブザーバー参加と早期批准を求めた。被爆者の平均年齢が83歳を超えていることを踏まえ、被爆者援護の充実と被爆体験者の救済も訴えた。

被爆体験者を巡っては7月14日、広島高裁が国の援護対象区域外にいた原告84人全員を被爆者と認める判決を出し、国側が上告を断念。国は加藤勝信官房長官が「具体的な審査認定について広島県、広島市とともに長崎県、長崎市とも相談していきたい」と述べ、長崎の被爆体験者も救済する可能性を示したが、その後の首相談話には明記されなかった。

首相は今月6日の広島平和記念式典で「原告と同じような事情にあった方々についても救済できるよう早急に検討を進める」と発言。長崎の式典で被爆体験者の救済に触れるか注目されたが、言及しなかった。

式典後の記者会見で、首相は「広島においては熟慮を重ねて84人の原告に(被爆者健康)手帳を交付することにした。同じような事情にあった方も認定・救済できるよう広島県、市、国の3者で連携している」としたが、長崎の被爆体験者については「訴訟が継続中なので行方を注視する」と述べるにとどめた。核禁条約を巡っても核保有国が支持していないことなどを理由に「我が国の立場に照らして署名する考えはない。オブザーバー参加も慎重に見極める」とこれまでの説明を繰り返した。【中山敦貴】

長崎被爆者救済「差別か」「死んでしまう」 明言せぬ首相に怒り

毎日新聞 2021/8/9 21:10 (最終更新 8/9 21:27)

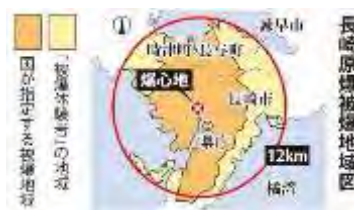


菅首相(左端)と面会し、要望書を手渡す

被爆者団体の代表ら＝長崎市で2021年8月9日午後0時50分(代表撮影)

米軍の原爆投下から76年の9日、長崎は台風9号の雨が早朝に上がり、青空が広がり始めた中で平和祈念式典が開かれた。しかし「あの日」を知る人たちの心は晴れない。就任後、初めて式典に参列した菅義偉首相は国の援護対象区域外にいた「被爆体験者」の救済にも、今年1月に発効し核兵器の保有などを禁じた核兵器禁止条約への参加にも触れなかった。6日の広島平和記念式典では対象区域外住民の救済に言及していた。「長崎を差別する気か」。怒りの声が上がった。

首相が被爆体験者の救済に触れず



長崎原爆で国が指定する被爆地域

地域

「実質ゼロ回答だ。広島では回答したのに、長崎の被爆体験者の求めはたなざらしのままだ」。式典後、菅首相と面談した被爆者5団体の一つ、長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長(81)は肩を落とした。

被爆体験者は原爆投下時、国が定める被爆地域(爆心地から南北へ約12キロ、東西へ約7キロ)の外にいた人たち。被爆地域が当時の行政区画などに沿って指定されたため、爆心地の東西では南北と同じ半径12キロ圏内にも被爆者と認められない。被爆者は医療費の窓口負担が原則不要で健康障害などに応じて手当も支給されるが、被爆体験者は医療費助成が精神疾患などに限定される。被爆体験者精神医療受給者証の所持者は長崎県内で5425人(3月末)に上る。

9日の平和祈念式典であいさつした菅首相は被爆体験者の問題に触れず、被爆者団体と面談した後の記者会見では「(広島では救済に向けて)県、広島市、国の3者で連携しているが、長崎は訴訟が継続中なので行方を注視する」と区別する考えを示した。



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、原爆

投下時刻に合わせて黙とうする参列者＝長崎市の平和公園で2021年8月9日午前11時2分(代表撮影)

被爆体験者らの落胆は大きい。爆心地から東へ約11キロの旧戸石村(現長崎市)にいた山下マサヨさん(80)と相浦洋子さん(77)の姉妹は語気を強めた。「こんな体になったのは原爆のせい。(広島と)同じ状況にあった私たちも被爆者と認められるべきです」(山下さん)

原爆が落とされた日、4歳の山下さんと1歳の相浦さんは自宅近くの海岸で遊んでいた。閃光(せんこう)と爆音の後、暗くなった空から灰が降り、逃げ込んだ防空壕(ごう)の横にあったビワの葉に積もった。しばらくして黒い雨が降り、服が黒く汚れた。その後の生活でもため池に浮いた灰やごみをひしゃくでよけて

水を飲み、畑で取れた野菜やサツマイモのつるを食べた。

山下さんは心臓が悪く、大腸がんなどの手術を受けて肺がんの疑いもある。相浦さんは幼いころから腎臓が悪く、5年前には脳梗塞（こうそく）で倒れた。国や市、県に被爆認定を求めた集団訴訟の第1陣は2017年、最高裁で敗訴が確定したが、18年に再び長崎地裁に提訴した山下さんら28人のうち21人が原爆投下後、黒い雨や灰が降ったと証言している。



平和祈念式典で献水する遺族代表ら＝長崎市の平和公園で2021年8月9日午前10時54分、平川義之撮影

山下さんらと同じ訴訟の原告団長、岩永千代子さん（85）は首相のあいさつを中継で見て「うそつきと思った」と憤る。広島高裁は今年7月、援護対象区域外にいた原告84人全員を被爆者と認め「黒い雨に打たれた人は無論、雨に打たれなくても空気中の放射性微粒子を吸ったり、混入した水を飲んだり、付着した野菜を摂取したりして体内に取り込むことで健康被害を受ける可能性があった」とした。国側が上告を断念した際、首相は「原告と同じような事情にあった人は救済するよう早急に検討する」と述べていた。

それなのに――。「一緒に裁判をしている28人はみんな病気を持っている。首相は『裁判の行方を見守る』というが、それではみんな死んでしまう。早く助けてほしい」。岩永さんは祈るように話した。【中山敦貴、松村真友、樋口岳大、今野悠貴】

菅首相 被爆者団体代表らと面会 核なき世界への取組主導を強調

NHK2021年8月9日 16時45分



「長崎原爆の日」の9日、菅総理大臣は、長崎市で被爆者団体の代表らと面会し、唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界に向けた国際社会の取り組みを主導していく考えを強調しました。



菅総理大臣は、長崎市での平和祈念式典に出席したあと、田村厚生労働大臣とともに、被爆者団体の代表ら5人と面会しました。この中で、団体の代表は「核兵器禁止条約」への署名・批准や、条約の締約国会議へのオブザーバーとしての参加、それに、長崎で被爆者としての認定を求めて裁判を続けている「被爆体験者」と呼ばれる人への被爆者健康手帳の交付などを求めました。これに対し、菅総理大臣は「唯一の戦争被爆国として、非核三原則を堅持し、核兵器のない世界に向けて、国際社会の取り組みをリードしていくことをお誓いしたい」と述べました。

その上で『核兵器禁止条約』が目指す核廃絶というゴールはわが国も共有している。一方で、目標を実現するためには、核兵器国を巻き込んで核軍縮の取り組みを進めていくことが必要不可欠だ」と述べ、現実の安全保障上の脅威に適切に対処しながら、現実的に核軍縮を前進させる道筋を追求していく考えを改めて示しました。

また、被爆者への支援について「被爆者が高齢化する中、原爆症の認定審査の迅速化は当然のことだ。今後とも、被爆者への援護施策や、原子爆弾の悲惨な経験を世代と国境を越えて伝えていくための取り組みを誠心誠意、政府として進めていきたい」と述べました。

被爆者団体 菅首相に条約への署名など求める要望書手渡す
長崎の被爆者団体の代表は、菅総理大臣らと面会し、核兵器禁止条約への署名・批准や「被爆体験者」の救済などを求める要望書を手渡しました。

また長崎原爆資料館への訪問を求めたのに対し、菅総理大臣は「検討したい」と応じました。

長崎県の主な5つの被爆者団体の代表は、平和祈念式典の後、長崎市内のホテルで菅総理大臣らと面会し、核兵器禁止条約への署名・批准や、国が被爆者と認定する地域の外にいた「被爆体験者」の救済などを求める要望書を手渡しました。

そして、長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長は、「どうして長崎原爆資料館に総理大臣を含め、閣僚の皆さんが誰ひとり足を運ばないのか。広島には大勢の総理大臣や閣僚が訪れている。長崎の原爆資料館も見てください」と訴えました。これに対し、菅総理大臣は、核兵器禁止条約への署名・批准には否定的な考えを重ねて示す一方、原爆資料館の訪問については「検討したい」と応じました。

また、田村厚生労働大臣は「被爆体験者」の救済について「現在の被爆地域より広い範囲で健康影響の観点から問題となる量の放射線の被爆があったという科学的知見は得られていない。PTSDおよび合併症に対する医療費の助成事業は行っているが、合併症は精神疾患との関連を要件にしている。がんについては精神疾患との医学的なつながりは認められていないが、科学的知見の動向を引き続き注視したい」と述べました。

菅首相 “被爆体験者救済 行方を注視” “条約 署名の考えない”
菅総理大臣は、平和祈念式典に出席したあと長崎市内のホテルで記者会見し、原爆の後遺症に苦しんでいる人がいることを胸に刻む必要があるという認識を示す一方、「被爆体験者」の救済については「現在も訴訟が継続中でありまずはその行方を注視していきたい」と述べました。

この中で、菅総理大臣は「76年前のきょう、原子爆弾によって一瞬のうちに焦土と化し、多くの方の大切な命が失われ、いまなお原爆の後遺症に苦しんでいる方がいることを胸に刻んでいかなければならない」と述べました。

一方、国が被爆者と認定する地域の外にいた「被爆体験者」の救済については「長崎においては、現在も訴訟が継続中なので、まずはその行方を注視をしていきたい」と述べました。

また菅総理大臣は、核兵器禁止条約について「核廃絶というゴールは共有をしているが、核兵器のない世界を実現するには、核兵器国を巻き込んで軍縮を進めていくことが不可欠だ。安全保障環



「平和への誓い」を読み上げる岡信子さん＝9日

午前、長崎市（代表撮影）

「私たち被爆者は命ある限り語り継ぎ、核兵器廃絶と平和を訴え続けていくことを誓います」。長崎市の平和祈念式典で、「平和への誓い」を読み上げた被爆者の岡信子さん（92）＝長崎市住吉町＝は、看護学生として救護活動に尽力した当時の体験を語り、核なき世界の実現を訴えた。

当時16歳で、大阪の看護専門学校で学生だった岡さんは、大阪大空襲で病院が爆撃されたため、長崎に帰郷し、爆心地から1.8キロの自宅で待機中に被爆。左半身にガラス片が刺さる大けがをした。「キュウゴシュツウセヨ」。日本赤十字社長崎支部から出頭を命じる電報が届いたのは、原爆投下から3日後のこと。母や弟も被爆し、けがをしていたが、「私は日赤救護員だから」と不安な気持ちを抑え、市内の救護所へ駆け付けた。

動員先の新興善国民学校救護所は、衛生兵が「戦場でも見たことがない」と話すほどの惨状だった。3階建ての救護所に次々と被爆者が運ばれ、悪臭が立ち込めていた。亡くなる人も多く、女性2人でトラックの荷台に角材を積み重ねるように遺体を投げ入れた。苦しさのあまり、救護所から飛び降りる人もいた。胸から腹までうじだらけになった遺体を見て、思わず逃げだそうとしたが、「それでも救護員か」という衛生兵の声で使命感を取り戻した。

不眠不休で救護に当たりながらも、行方の分からない父のことが心配だった。脚の傷にうじが湧き、きりで刺すような痛みを感じつつ、暗くなるまで町中を捜し回った。途中、腹から飛び出した内臓を両手で抱え、ぼうぜんとして立っている男性や、首がちぎれた赤ん坊に乳を飲ませようとする若い母親を見た。「もう私の体も限界だ」と思った時、時津国民学校救護所で、大けがをした父と再会した。「お父さん生きていた！私、頑張って捜したよ！」と泣いて抱き付いた。

被爆者代表としては最高齢。「原爆の恐ろしさを伝えるために、この年まで生かされた」と語る。誓いには、「亡くなった被爆者の無念を伝え、若い人にあんな苦しいことをさせたくない」との願いを込めた。「私の後ろには原爆で亡くなった大勢の人々が立っている」と岡さん。平和を祈る犠牲者の声なき声を背中に受け、かみしめるように訴えた。

「たった一つの命、大切に」 平和の尊さ、次世代へー3歳で被爆の田中安次郎さん

時事通信 2021年08月09日 17時08分



爆心地付近で焼死した少年の写真を手に、取材に答える被爆者の田中安次郎さん＝7月20日、長崎市の長崎原爆資料館

「たった一つの命だから大切に。戦争なんかでなくすことがな

境がいつそう厳しさを増している中で、抑止力の維持・強化を含め、現実の安全保障上の脅威に適切に対処しながら、現実的に核軍縮を前進させていく道筋を追求していくことが適切だ」と述べました。

そのうえで、菅総理大臣は「こうしたわが国の立場に照らし、条約に署名する考えはない。また、締約国会議へのオブザーバー参加についても、慎重に見極める必要がある」と述べ、条約への署名・批准には否定的な考えを重ねて示しました。

『被爆体験者』の救済 “回答がなかったのにはがっかり”



要望のあと、長崎県被爆者手帳友の会の朝長万左男会長は「いま最も肝心な『被爆体験者』の救済について、広島黒い雨の扱いと別なのか、同等なのかも含めて、全く回答がなかったのにはがっかりした。回答がなかったことは、内々では検討していると信じるしかない」と述べました。

また、長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会の川野浩一議長は『『被爆体験者』への対応について、私たちが期待していたものが1つも出てこなかった。広島黒い雨と長崎の被爆体験者は同一問題なのに、触れさせないというのはどういうことだ』と述べました。

一方、川野議長は、要望を終えた後、菅総理大臣から長崎原爆資料館への訪問について「帰ってから検討する」と伝えられたことを明らかにした上で「前向きに受け止めている」と述べました。さらに、長崎原爆被災者協議会の田中重光会長は「政府は、『核兵器国と非核兵器国の架け橋になりたい』と繰り返しのべているが、いまだにどのように橋渡しをするのか、一度も具体的に述べてない」と指摘しました。

被爆体験者訴訟 原告団長 岩永千代子さん「あぜんとした」

被爆体験者訴訟の原告団長を務める岩永千代さんは、菅総理大臣が被爆体験者の救済をめぐり、訴訟の行方を注視する考えを示したことについて「菅総理大臣にははっきり言ってあぜんとした」と述べました。

その上で「広島判決の後、菅総理大臣自身が『被爆者援護法の理念に立ち返る中で、上告はしない』とおっしゃった。もし、援護の理念に立ち返るのであれば長崎も広島と同じく救済すべきだ」と訴えました。

また、岩永さんは、田村厚生労働大臣が「現在の被爆地域より広い範囲で、健康影響の観点から問題となる量の放射線の被爆があったという科学的知見は得られていない」と説明したことについては「実際に長崎にも黒い雨が降った地域もあり、苦しんでいる人もいます。科学的、合理的とはどういうことか聞きたい」と述べました。

その上で「広島の場合は、広島市と広島県が国に上告断念を訴えたことが、菅総理大臣の判断につながったと思う。長崎市と長崎県にも同じように頑張してほしい」と述べました。

平和へ願い、命ある限り 看護学生、救護に尽力—被爆者代表岡信子さん・長崎原爆忌

いよう、過去を学び、未来をどう生きるか考えて」。3歳で被爆した長崎市の田中安次郎さん(79)は「二度とあんな時代が来ないよう、自ら考え行動する人になってほしい」と願い、修学旅行で長崎を訪れる小中学生らに平和の尊さを伝えている。

爆心地から3.4キロの自宅前路上で、祖母、妹と共に被爆。カメラのフラッシュを何万回も放たれたような青白い光を浴び、家に飛び込んだ途端に強い爆風を感じた。当時の詳細な記憶はないが、薄暗い空にオレンジ色の太陽がぼんやり光っていたのを覚えている。自宅にいた母の背中には無数のガラス片が刺さっていたと、後に母から聞いた。

戦後の生活は貧しく、その日食べる物にも事欠く日々を送った。原爆の影響からか、小さい頃から右耳が聞こえにくかった。皮膚も弱いため、かさぶたが手足いっぱいにつき、学校では嫌われたり仲間外れにされたりした。「被爆者の苦しみはいろいろある。私の場合はいじめだった。そういう苦しさを他の人に味わってほしくない」と話す。

偏見の目で見られるのを嫌い、被爆者であることを隠し続けた。原爆について詳しく知ろうとせず、家族に当時の出来事を語ることはなかった。

転機となったのは、定年退職後に長崎原爆資料館の駐車場で働き始めたこと。2004年春、落ち込んだ様子で座り込んでいた修学旅行中の中学生から「人間は何で戦争なんかするんですか」と尋ねられたが、何も答えられずにぼろぼろとした。「少し勉強しないといけない」と思うようになり、先輩から被爆体験や核兵器の恐ろしさを聞き、73歳で語り部活動を始めた。

「子どもに夢と未来を語る被爆体験があつていい。そう思って毎日模索している」と話す田中さん。講話では子どもと同じ目線に立ち、「今を大切に、人に優しく、自分に優しく生きること。それが平和だと思わんか」と語りかけている。

「野球できる平和」かみしめ 被爆3世の長崎商女子マネ

朝日新聞デジタル三沢敦 2021年8月9日 20時02分



選手らと黙禱するマネジャーの築瀬彩巴さん(右)＝堺市、長崎商提供



10日に開幕する全国高校野球選手権大会。被爆地・長崎代表の長崎商の部員らは9日、76年前に原爆が投下された午前11時2分、滞在先の大阪府堺市の室内練習場で黙禱(もくとう)した。この日の甲子園の開会式は延期になったものの、被爆3世のマネジャー築瀬彩巴(いろは)さん(3年)は平和への願いを胸に、選手らと夢の舞台に立てる喜びをかみしめた。

爆心地に近かった当時の校舎は壊滅的な被害を受け、学校や動員先で生徒や教職員ら174人が犠牲になった。学校には慰霊碑があり、毎年8月9日に全校生徒が登校して慰霊祭が営まれ、

平和について学ぶ。

築瀬さんは夏になる度、亡き祖父、矢一さんから聞いた話を思い出す。「乗っていた電車がトンネルにさしかかった時、原子爆弾が落ちたんだ」「姉に手を引かれて必死で逃げたよ。トンネルを抜けると、いつもと違う世界だった」。矢一さんは当時、3歳。かすかな記憶をたぐり寄せ、繰り返し聞かせてくれ、こう言った。「本当に怖かった」

長崎商が同じ舞台に立った5年前、矢一さんは75歳で亡くなった。丈夫で元気なおじいちゃんだと思っていたが、白血病で闘病生活を送っていた。

夏の甲子園は過去3度中止になった、と聞いた。理由の一つが戦争、一つが新型コロナウイルス。コロナの影響で戦後初めて開催が見送られた昨年、泣きじゃくる先輩たちにかける言葉も見つからなかった。

いまなお続くコロナ禍で野球ができることへの感謝と、平和への感謝——。「野球ができるのは当たり前なんじゃない。きっと特別なことなんだ」。二つの感謝が重なる夏だ、と築瀬さんは感じている。(三沢敦)

家族の被爆知らずショック 体験聞き、受け継ぐ大学生

朝日新聞デジタル米田悠一郎 2021年8月9日 19時57分



被爆者代表の岡信子さん(左)に聞き取りをする平山英恵さん＝2021年7月3日午前10時44分、長崎市、米田悠一郎撮影



長崎純心大2年の平山英恵(はなえ)さん(19)は、岡信子さんの体験を聞き取り、語り継ごうとしている。一方で、岡さんが受けた傷や原爆に対する世間の関心が低いのを目の当たりにし、継承の難しさも感じている。

岡さんが式典に参列していた9日午前11時2分、平山さんは、長崎県北部・平戸市にある海が見える図書館の駐車場で、同じく岡さんの体験を聞き取っている鍛冶(かじ)美里さん(19)と一緒に黙禱(もくとう)を捧げた。サイレンは鳴っていたが、周りの人は何事もなかったかのように過ごしていた。

スマートフォンの画面には、平和への誓いを力強く述べる岡さんの姿があった。2人がまだ聞いたことのない体験が盛り込まれていて、「まだまだ聞き取りが足りないな」と感じた。

平山さんは中学生の時、戦争の歴史を演劇を通じて学んだ。長崎原爆や沖縄戦がテーマで、家族を亡くしたおばあさんの役を演じ、未来ある子どもの命が戦争で失われたと知った。

ただ、長崎市から北に75キロ離れた平戸市で中学卒業まで過ごした平山さんが被爆者と接したのは、毎年8月9日の平和学習だけ。平和に関心はあったが、身近な被爆者を知らず、「原爆はどこか遠いものなんだろうな」と感じていたのも事実だった。

そんな自分や家族に目を向けるきっかけを与えてくれたのが岡さんだった。

大学入学後、平和活動をする同大の学生団体に入った。今年4月からは、同じ大学の鍛冶さんとともに岡さんの聞き取りを始めた。6月上旬、母にそのことをLINEで伝えた。近況報告のつもりだったが、こう返事があった。

じいちゃんは、被爆地拡大で被爆者に認定された。お母さんは被爆2世

家族のことすら知らなかったことがショックだった。だが、車で30分ほどの場所にいる祖父(78)に、その後も詳しい話は聞けないでいる。「原爆を思い出すのもいやだった」と岡さんから聞いているだけに、ためらいを覚えるからだ。

「被爆者が経験を語るのには本当に重いこと。受け継ぐ私たちも思いに応えられるように勉強しなきゃ」

岡さんから聞き取った話は今夏中にも原稿にまとめる。来春までに長崎原爆資料館で証言することが目標だ。それまでには祖父の話を知りたいと思っている。

平山さんのように、家族や第三者が被爆者の経験を聞き取って語り継ぐ「家族・交流証言者」は44人が公益財団法人・長崎平和推進協会の認定を受けている。市が2016年度から始めた事業で、被爆者が亡くなっても体験を引き継ぐ狙いがある。協会によると、7月20日現在、第三者が聞き取った被爆者16人のうち、すでに2人が亡くなった。(米田悠一郎)

生涯、叫び続けた核廃絶 長崎市長引用の被爆修道士

日経新聞 2021年8月9日 17:01



4月に93歳で亡くなった修道士、小崎登明さん=共同

「沢山の人が、親が、子が、愛する人が殺されたのだ。このバクダンを二度と、繰り返させないためには、『ダメだ、ダメだ』と言い続ける。核廃絶を叫び続ける」。田上富久長崎市長が9日読み上げた平和宣言には、生涯被爆体験を語り、4月に93歳で亡くなった修道士、小崎登明さんの手記が引用された。

「トマさん」の愛称で親しまれた小崎さんは1945年8月9日、17歳の時、爆心地から2.3キロの工場で被爆。その直後、以前暴力を振るわれた瀕死(ひんし)の同僚に「ざまあみろ」と言った。助けを求める人々を見捨てた後悔は、一生残った。

唯一の肉親だった母親を失い、戦後、長崎市の聖母の騎士修道院に身を寄せ修道士に。修道院創設者で、アウシュビッツ強制収容所で収容者の身代わりに殺害されたマキシミアノ・コルベ神父の生き方に感銘を受け、師と慕った。戦後50年を機に語り部を始めた。

小崎さんをみとった修道院の神父らが7月、思い出を語り合った。山口雅稔神父(50)は「最愛の母を原爆で失った体験が常に根底にあった。大切な人を奪われるような世界が生まれることに、強く反対した人だった」と振り返る。

小崎さんから体験を聞き取り、語り部として受け継ぐ横山理子さん(47)は「自分が生き延びた意味を、体験を語ることで伝えて

いた。彼の記憶を自分の一部として、トマさんが伝えたかった平和を考え続けていきたい」と力を込めた。[共同]

爆心地で平和の思い新た 高校生「次世代に伝えたい」—長崎原爆の日

時事通信 2021年08月09日 13時18分



原爆落下中心地碑前で「人間の鎖」を作り平和の実現を訴える高校生ら=9日午前、長崎市



原爆投下から76年を迎えた9日の長崎原爆の日。長崎市松山町の平和公園にある「原爆落下中心地碑」の前には早朝から多くの市民らが訪れ、犠牲者の冥福を祈り、平和への思いを新たにしていた。

午前7時ごろ、核廃絶を訴えて署名活動をする75人の高校生は、コロナ禍のためリボンを使って「人間の鎖」を作り、中心地碑を囲んだ。県内の私立高校3年の大沢新之介さん(18)は、被爆した曾祖母から原爆投下直後の爆心地周辺の様子などを聞いていた。2年前に曾祖母が亡くなり、「もっと話を聞いておけば良かった」と悔やんだ。進学後も活動に携わりたいと話し、「体験者の話を次の世代に伝えたい」と語った。

「核のない平和な世界を実現してほしい」。爆心地から12キロ離れた自宅で被爆した菅多重子さん(83)=長崎市深堀町=は、中心地碑を見詰めながら語った。6歳年上の姉は通学中、爆心地付近で亡くなったという。菅さんは、日傘を突いて碑の前まで行くと、靴を脱いで座り、長い間手を合わせ犠牲者の冥福を祈った。

中心地碑には、多くの花や千羽鶴が手向けられた。祖父母が被爆したという県内の大学に通う山口雪乃さん(18)は、献花し頭を深く下げた。祖父母から、街が焼け野原になった当時の様子を聞き、「平和な世界になってほしい」と話した。

前首相と全く同じ文言も…「見捨てられた」長崎の被爆者

朝日新聞デジタル 佐々木亮、真野啓太、小川裕介 2021年8月9日 19時51分



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に遅れて到着した菅義偉首相=2021年8月9日午前10時46分、長崎市の平和公園、代表撮影



「長崎原爆の日」の9日、菅義偉首相が就任以来初めて長崎市の平和祈念式典に臨んだ。「首相が代われれば、政策も……」。地元
の被爆者らは注視したが、前政権からの型通りの言葉に隔たりは
埋まらなかった。

昨年、安倍晋三首相（当時）の広島と長崎の式典あいさつが酷
似していて、「コピペ」などと批判を浴びた。今年の菅首相のあ
いさつも、広島と同じ文言が随所にみられた。さらに「（この地
が）美しく復興を遂げたことに、私たちは改めて、乗り越えられ
ない試練はないこと、そして、平和の尊さを強く感じる」などと、
昨年の首相あいさつと全く同じ部分もあった。

ここ数年、首相あいさつは「被爆者の方々に寄り添いながら」
「総合的な援護施策を推進してまいります」という言葉を繰り返
してきた。だが9日に菅首相と面会し、要望書を手渡した長崎の
被爆者5団体の代表は「寄り添われていると感じたことはない」
「被爆者は見捨てられている」などと口々に話した。

会見で首相「訴訟が継続中」とだけ

要望書は、今年1月に発効し…

残り：521文字／全文：959文字

長崎原爆忌、1分遅刻 あいさつ読み飛ばさず菅首相

時事通信 2021年08月09日 18時35分



あいさつする菅義偉首相＝9日午前、長崎市（代表
撮影）

菅義偉首相は9日、長崎市で開かれた平和祈念式典に1分間遅
刻した。開始のアナウンスは午前10時45分だったが、首相の
着席は同46分だった。遅刻の理由について、政府関係者は「所
用のため」と具体的な説明を避けた。

首相は6日、広島市の平和記念式典で「唯一の戦争被爆国」に
触れた部分などを読み飛ばし、陳謝したばかり。一連の式典でミ
スが相次ぐ事態となった。

一方、長崎市の式典では、あいさつを原稿通りに読み終えた。

読み飛ばしの原因について、首相周辺は「（蛇腹状にたたんだ
原稿が）のりでくっついていて」と釈明。「長崎ではないように
したい」と再発防止を誓っていた。

首相、原爆式典に1分遅刻 長崎平和公園、被爆者批判

2021/8/10 01:00 (JST)共同通信社



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典会

場に入り、式典開始が告げられた後の午前10時46分に着席す
る菅首相（中央）＝9日、長崎市の平和公園（代表撮影）

菅義偉首相は9日、長崎市の平和公園で開かれた長崎原爆犠
牲者慰霊平和祈念式典に1分遅刻した。開始予定時刻だった午
前10時45分の4分前に平和公園に到着したが、会場に着席し
たのは、式典開始が告げられた後の同46分だった。首相周辺は
理由について「所用だ」と説明した後「事務方による時間管理上
の不手際」と修正した。被爆者団体から批判する声が出ている。

首相は9日午前に羽田空港から日航機で長崎入りした。自宅
である東京・赤坂の衆院議員宿舎は、予定通り6時50分に出発。
ただ長崎空港を経て平和公園に着いたのは予定より1分遅れだ
った。



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の会場に入る菅首
相＝9日午前10時46分、長崎市の平和公園（代表撮影）

東京オリンピック 新型コロナ 大会関連の感染者は計458人に

NHK 2021年8月9日 21時29分



東京オリンピックの国内の委託業者やボランティア、それに海外
から来日した関係者など合わせて28人が新たに新型コロナウイ
ルスに感染したことがわかりました。

先月1日からオリンピック最終日の8日までに感染した人の累
計は458人となりました。

大会組織委員会は、オリンピックの閉幕から一夜明けた9日、新
たに28人が新型コロナの検査で陽性反応を示したと発表しまし
た。

この中に選手はおらず、海外から来日した人は、大会関係者が5
人、メディアが1人、大会の委託業者が1人の合わせて7人で、
このうち大会関係者1人は選手村に滞在する人でした。

海外から来日した選手と関係者の感染者は、先月1日から8日
までの累計で151人となり、選手村に滞在する人の累計は34人
となっています。

また、日本在住の人で新たに感染が確認されたのは、大会の委託
業者が12人、ボランティアが6人、組織委員会の職員が2人、
大会関係者が1人の合わせて21人でした。

これで組織委員会がまとめるオリンピックに関連した感染者の
累計は、国内と海外合わせて458人となりました。

菅首相、五輪「開催国の責任果たした」 ワクチン接種、1億回超に

時事通信 2021年08月09日 16時33分



式典後、記者会見する菅義偉首相＝9日午後、

長崎市内のホテル（代表撮影）

菅義偉首相は9日、長崎市で記者会見し、8日に閉幕した東京五輪について「開催国としての責任を果たし、無事に終えることができた」と総括した。その上で「国民の理解と協力のたまものだ。心から感謝したい。また、選手は大活躍だった。素晴らしい大会になった」と強調した。

首相は、新型コロナウイルスワクチンの接種回数が1億回を超えたことを明らかにした。優先して接種を進めた65歳以上の高齢者で、新規感染者や重症者が減少したことを挙げ、「ワクチン接種の効果は明らかだ。一日も早く2回接種を進めていく」と決意を示した。

今週からのお盆休みを前に、首相は「かつてない感染拡大が続いている中、極めて大事な時期だ」と危機感を表明。東京都の新規感染者のうち、30代以下が7割を占める状況に触れ、「若者でも重症化リスクが高まっている。感染拡大防止にぜひ協力してほしい」と呼び掛けた。

一方、長崎原爆の被爆者認定をめぐるのは、「現在も訴訟が継続中なので、その行方を注視したい」と述べるにとどめた。広島原爆の「黒い雨」訴訟で、政府は上告を見送り、原告以外も救済する方針を示している。

首相は「多くの大切な命が失われ、今なお原爆の後遺症に苦しんでいる方がいることを胸に刻んでいかなければならない」とも語った。

核兵器禁止条約への対応に関しては「署名する考えはない。締約国会議へのオブザーバー参加も慎重に見極める必要がある」と従来の立場を繰り返した。

首相、お盆の行動自粛を要請 ワクチン接種「1億回超」

2021/8/9 17:41 (JST)共同通信社

菅義偉首相は9日、長崎市で記者会見し、新型コロナウイルスの感染急拡大に関し「今週からお盆だ。変異株でかつてない感染拡大が続いており、極めて大事な時期だと思っている」と行動自粛を呼び掛けた。ワクチンの国内総接種回数が「1億回を超えた」と明かし、接種を促進する姿勢を強調。8日閉幕した東京五輪については「開催国としての責任を果たせた」と総括した。

感染対策として、若年層を中心に「不要不急の外出を控え、帰省、旅行も極力避けてほしい」と求めた。若者から家庭への感染経路が懸念されていると指摘。ソーシャルメディアで若年層向けの発信を強化するとした。

菅首相、コロナ急拡大「お盆大事な時期」 東京五輪「開催国の責任果たせた」

東京新聞 2021年8月9日 14時21分



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、あいさつする菅首相＝9日午前、長崎市の平和公園（代表撮影）

菅義偉首相は9日、長崎市で記者会見し、新型コロナウイルスの感染急拡大に関し「今週からお盆だ。変異株でかつてない感染

拡大が続いており、極めて大事な時期だと思っている」と述べた。新型コロナウイルスの国内総接種回数が「1億回を超えた」とも明らかにした。8日閉幕した東京五輪については、責任を果たせたとした。

東京都の新規感染者を巡っては、30代以下の若者が7割ぐらゐを占めているとして、ユーチューブやツイッターなどを活用して不要不急の外出を控えるよう協力を呼び掛けていると強調した。

東京五輪閉幕では「開催が1年延期され、さまざまな制約の下での大会となったが、開催国としての責任を果たせた。国民に感謝したい」と語った。（共同）

菅首相「日本だからできた、との声も」 長崎で五輪語る

朝日新聞デジタル 森岡航平、小手川太朗 2021年8月9日 15時28分



式典後、会見する菅義偉首相＝2021年8月9日午後1時34分、長崎市内のホテル、代表撮影



長崎の平和祈念式典に出席した菅義偉首相は9日、長崎市内で記者会見した。閉幕した東京五輪について、首相は「開催が1年延期され、様々な制約のもとでの大会となったが、開催国としての責任を果たして無事に終えることができた。選手の皆さん、大活躍だった。素晴らしい大会になった」と振り返った。

首相はコロナ禍での五輪開催をめぐる、「感染対策について海外からは『厳しすぎる』という声もあったが、『日本だからできた』と評価する声も聞かれている」と語った。

また、国内で新型コロナウイルス感染が若い世代で広がっていることについて、「若者でも重症化のリスクが高まっているし、後遺症もある方も出てきている。若いから影響はないということじゃないと認識頂きたい」と訴えた。

また、広島への原爆投下後に放射性物質を含む「黒い雨」を浴びた住民らを被爆者と認め、被爆者健康手帳の交付を命じた広島高裁判決について上告を断念したことに関連し、長崎の被爆体験者への対応などを問われた首相は、「今なお、原爆の後遺症に苦しんでいる方がいらっしやることを私自身としては胸に刻んでいかなければならない」と語った。そのうえで「長崎においては、現在も訴訟が継続中であり、その行方を注視をしていきたい」と述べるにとどめた。

一方、今年1月に発効した核兵器禁止条約については「米国を含む核兵器国、多くの非核兵器国からも支持を得られていないのが現状」とし、改めて「署名する考えはない」と述べた。締約国会議へのオブザーバー参加についても「慎重に見極める必要がある」とした。（森岡航平、小手川太朗）

ネット騒然…バツハ会長が銀座散歩？ 選手は観光禁止なのに
【動画あり】

東京新聞 2021年8月9日 21時28分

東京五輪閉幕から一夜明けた9日、国際オリンピック委員会（IOC）のバツハ会長とみられる人物が銀座を歩く姿が目撃され、ツイッターで動画や写真が拡散された。大会関係者は入国後14日間を過ぎると行動制限はなくなるが、IOCは選手に大会中の観光を禁じただけに批判の声も上がる。



銀座の街を歩く、IOCのバツハ会長とみられる人物
(都内在住の50代女性提供)

◆「バブル守る気ないの？」

「(新型コロナウイルス感染を防ぐ) バブルを作る気も、守る気もなかったのではないかな。同日夕、銀座でバツハ氏らしき人物の写真を撮影し、投稿した50代女性は本紙の取材に語気を強めた。

女性によると、ブランド店が並ぶ通りを、警護や大会スタッフのユニホームを着た人を引き連れて歩いていったという。女性は「選手や大会関係者のルール破りが横行しても、IOCの対処の甘さが不思議でならなかった。会長自身が観光や買い物を楽しみかけたからなのかと、ふに落ちた」とあきれた。



お付きの人を引き連れて…？(都内在住30代女性

提供)

同じくこの光景を目撃した30代女性も「バブル崩壊なのは？と思った。アスリートは観光禁止なのに…」と取材に答えた。

◆神対応には好感

一方、好意的な意見もあった。ツイッターに動画を投稿した都内在住の20代女性は本紙の取材に「通行人の小さなお子さんをあやしたり、写真撮影に1人1人対応したりしていた。やさしい方だと思った」と振り返った。

本紙はIOCにバツハ氏の銀座訪問の事実を確認したが、9日夜までに回答はなかった。

池澤夏樹さん「ウソにまみれた五輪」 感動の消費で終わらないために

朝日新聞デジタル聞き手・斎藤徹 2021年8月9日 9時00分



作家の池澤夏樹さん

コロナ禍のなか強行された今回の東京五輪。招致活動から開催まで底流にあるのは何か。作家・池澤夏樹さん(76)に聞いた。

今回の東京五輪全体を総括すれば、あまりにもウソが多かった五輪ということになるかと思います。

池澤夏樹(いけざわ・なつき)

1945年、北海道帯広市生まれ。作家、詩人。ギリシャや沖縄、フランスに住み、2009年から札幌市在住。芥川賞を受賞した「スティール・ライフ」のほか、「静かな大地」や「カデナ」など作品多数。朝日新聞朝刊で小説「また会う日まで」を連載中。

招致段階で、当時の安倍晋三首相は、東京電力福島第一原発事故について「状況はコントロールされている」と発言しました。原子炉建屋内にはメルトダウンした核燃料が取り出せないままで汚染水も日々たまっているなど、事故が今も収束していないのは周知の事実です。

当初盛んに言われていた「復興五輪」もウソ。結果として、東北復興とは何の関係もない五輪でした。

招致委員会が提出した立候補ファイルでは、開催時期の東京の気候が「温暖でアスリートが最高の状態でパフォーマンスを發揮できる理想的な気候」とうたっていました。

池澤さんはインタビューの後半で、1964年の東京大会と今回の大会との違いを語ります。そして、自らが住む札幌市が2030年冬季五輪の招致を目指していることにも異議をとらえませんでした。

8月の日本は、北海道も含め、どこも暑いことを、僕たちは知っています。大会開催中、テニスのジョコビッチら、選手からは異常な暑さに怒りの声が上がりました。

最大のウソは、日本政府が、「国民の命と安全を最優先する」と言い張り、五輪開催に伴う新型コロナ感染拡大のリスクを無視し、開催を強行したことです。

五輪はスポーツの祭典、お祭…

残り：1777文字／全文：2300文字

米紙、トヨタの五輪対応に疑問 北京大会こそ辞退を

時事通信 2021年07月26日 20時56分



トヨタ自動車のロゴ(AFP時事)

【ワシントン時事】米紙ワシントン・ポスト(電子版)は25日、東京五輪用のCMの国内放映を見送ったトヨタ自動車の対応に疑問を呈し、来年の北京冬季五輪こそ「ボイコット」すべきだと唱えるコラムを掲載した。

コラムは、CM見送りと豊田章男社長の開会式欠席について「不幸なことに彼らは違う五輪をボイコットしている」と指摘。中国政府のウイグル族弾圧や香港での自由の抑圧に触れ「体制礼賛を正当化する式典に、何事も起きていなかったかのように企業幹部が列席するのは想像しがたい」と訴えた。

トヨタは国際オリンピック委員会(IOC)との間で北京五輪を含む2024年大会までの最高位スポンサーの契約を結んでいる。

コラムは新型コロナウイルスで日本国民の多くが五輪開催に反対していることにも言及。一方「忘れてはならないのは、日本人が刑務所送りを恐れることなく、自由に不満を表明できること

だ」と述べ、CM見送りへの違和感を強調した。

また、今回トヨタが「政治的決定を迅速に行えることを示した」と指摘し、北京五輪についても素早い対応を促した。

コロナ禍の五輪が残したものは？ 「国際感覚とのズレ」「日本の劣化」「雰囲気流される未熟な国民性」…各界識者に聞く

東京新聞 2021年8月9日 06時00分

◆「政治家が前面、『安心・安全』の根拠示さず」

「五輪の目的は、五輪憲章にある『人間の尊厳の保持に重きを置く、平和な社会の推進』。この理念に沿えば、開催はあり得なかった。感染拡大で人々の命は脅かされ、人間の尊厳が踏みにじられている」。一橋大大学院の坂上康博教授（スポーツ社会学）はこう指摘する。

コロナ禍を受けた大会の1年延期は昨年3月、国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長と安倍晋三首相（当時）の電話会談で決まった。「スポーツから政治の介入を排除するべきなのに、政治家が前面に出た。『安心・安全な大会』の根拠を示さず、国民も納得していなかった」と坂上さん。開催への反発や感染の恐怖から、海外選手団が滞在するホテルが中傷されたことを挙げ、

「五輪が^{わざわい}禍と捉えられた」と嘆く。

平和な社会づくりにスポーツを役立てる一。それが五輪の意義のはずなのに「感染を防ぐため、選手村でも会場でも選手は接触を避けた。ホストタウンの交流事業も中止。互いに理解を深め、平和につなげるという五輪の根幹が台無し」。坂上さんは、調査委員会を設けて経費や労力などを検証するべきだと提言する。

「開くべきではないのに開いたとの思いから、皆が感情を抑え込み、曖昧に笑ってやり過ごしていた」と表現するのはプロデューサーの残間里江子さん。強行開催を許した結果、人々は選手に拍手を送ることも、コロナ禍に心を痛めることもためらわれず、と唱える。「テレビで、コロナで苦しむ患者の映像が流れたと思うと金メダルを取った選手の姿が報じられる。異様な状態に、いたたまれなかった人は多いだろう」

◆若い選手「国超え交流 軽やか」



女子パーク決勝3回目で転倒しながらも4位となり、海外選手から持ち上げられる岡本碧優

ただ、光も見いだした。若い選手の姿だ。「例えば、スケートボードの選手たち。同じことが好きな仲間として国を超えて互いを励まし、純粋に大会を楽しんでいた。大人がつくりだした世界を乗り越える軽やかさを感じた」

若者文化に詳しいマーケティングアナリストの原田曜平さんは「今回は『SNS動画五輪』の始まり。選手が自分で撮った素の表情や生活が伝わる動画をSNSで流し、若者はそこを入りに、テレビで五輪を見ていた」と説明する。

さらに原田さんは「話題になるのは、選手の知名度や実績と関係なく、バズる（爆発的に広まる）動画。発信者が選手だったので五輪にも興味を持つようになる」と分析。今後、SNS動画は

スポーツにとって、ファン獲得や競技人口拡大のチャンスになると見る。

一方で原田さんは、日本人の危うさも感じ取った。「開催に反対する人が多かったのに、始まると五輪の空気になった。その時の雰囲気に流される未熟な国民性を感じた」

◆「人権意識欠如 変わるか問われている」



閉会式途中に行われた東京五輪・パラリンピック

ク反対デモ

東京都立大の舛本直文客員教授（五輪研究）は「五輪は、平和ではないこの世界をどう平和にするかを考える機会。五輪が目指す平和とは、人が人として生きるのに必要なことが保障された状態を指し、人権が尊重され、差別や搾取のない世界を言う。コロナ禍の今なら、医療体制が貧弱な国にもワクチンが行き渡ることでもある」と説く。

とはいえ、大会でその使命が果たされたとは思えないという。組織委員会長の女性蔑視発言、開閉会式の演出統括の女性タレント侮辱、「いじめ自慢」で辞任した楽曲制作担当ミュージシャン…。ユダヤ人虐殺をネタにしたコントで物議を醸した元芸人の解任劇もあった。

舛本さんは「人々は、人権意識があまりに欠如していると実感しただろう。これを教訓に、日本人の意識が変わるかが問われている」と強調した。

◆デスクメモ 「やって良かった」で終わらせるな

朝起きてテレビをつけると、男子マラソンが流れていた。大迫傑選手が1度は先頭集団から離れながら必死に食らい付き、2人を抜いた場面に胸が熱くなった。選手は皆、本当によくやったと思う。ただし、それと開催の是非は別の話。「やって良かった」で終わらせてはいけない。（千）

五輪はどこへ行く？ 規模とともに拡大する商業主義…もはや大都市以外開催不能か

東京新聞 2021年8月9日 06時00分



東京五輪の閉会式で国立競技場から打ち上げら

れた花火＝東京都渋谷区の展望施設「渋谷スカイ」で

東京五輪が閉幕した。史上最多の33競技が行われ、日本は過去最多のメダルを獲得。大会前から指摘されていた商業主義やコロナ禍の競技への影響はどうだったのか、検証した。（原田遼、平松功嗣）

◆閉会後に招致活動を批判

「コンパクト五輪という紹介は適切でなかった。なぜあんなことを言ったのか」。大会組織委員会の武藤敏郎事務総長が9日の記者会見で、唐突に大会招致活動を批判した。

東京都は2013年、国際オリンピック委員会（IOC）に出した立候補ファイルで「28会場が選手村から半径8キロ圏内に存在する、コンパクトな大会」をうたい、選手や関係者の利便性を訴えた。その後、複数会場を8キロ圏外の既存施設に振り替えた。武藤氏は「8キロ圏内に新しく施設をたくさん作らないといけない」と述べ、費用を考慮したことを強調した。



閉会式中に行われた東京五輪・パラリンピック反対デモ

◆あり方見直しには答えず

IOCは1984年ロサンゼルス大会以来、テレビ放映権やスポンサー収入を重視。人気プロ選手の出場を促すため、プロ大会と日程が重ならない7～8月に開催し、若者に人気がある都市型スポーツなどにも競技を拡大させた。今大会を通じて、規模拡大や商業主義への懸念は残った。33競技に約1万1000人の選手が参加。延期前はIOCやスポンサーの関係者14万人が来日予定だった。武藤氏は「これだけの規模になると、大都市以外、五輪を受け入れられない」と将来性を危ぶんだ。

「五輪のあり方を見直すべきではないか」。6日の記者会見でそう問われたバツハ会長は「IOCは保険に入っていて、東京五輪を中止する選択は容易だったが、中止すれば日本が行った投資は展望がなくなった」と人ごとのように答え、見直しには触れなかった。

◆メダルラッシュをもたらしたもの

日本選手団の金メダル27個、メダル総数58個はともに過去最多。自国開催のメリットを最大限生かした形だが、コロナ禍が海外勢に不利に働いた面も否めない。

日本選手は、普段と同じ練習拠点で直前まで調整できた。時差調整や気候への対策など海外の五輪で悩まされる問題もなかった。選手団の尾県 貢総監督は「住み慣れた土地でやったこと、身近なところで多くの人々からサポートいただいたことが力になった」。金メダル5個を獲得したレスリングの西口茂樹強化本部長も「味の素ナショナルトレーニングセンターで（調整を）じっくりできたのは大きい」と振り返る。

各国の選手団は事前合宿の中止が相次ぎ、入国制限で練習相手を連れてこられなかった例もあった。厳しい行動制限で、精神的ストレスも大きかったはずだ。



緊急事態宣言下、無観客で行われた東京

五輪の閉会式＝8日、国立競技場で

◆今後の競技力はどうなる

声援の後押しがない無観客開催という点では、日本は自国開催の利点を失った。会場によっては海外勢の関係者が大声で自国選手に声援を送り、日本にとってアウェーのような雰囲気も。ただ尾県氏は「無観客でも『（五輪で）戦える』という気持ちで薄れなかった」と説明。自国で大舞台に立てること自体が、良いプレ

ーを生む強い動機になったようだ。

2021年度に過去最高を更新して103億円になった国の競技力向上事業は、今後は縮小が予想される。今の競技力を維持できるか。3年後のパリ五輪、7年後のロサンゼルス五輪で真価が問われる。

コロナ禍の五輪 負の遺産も 感染者・熱中症続々 大会予算1兆6000億円超に膨張

東京新聞 2021年8月9日 06時00分



五輪閉会式でオリンピック旗を掲げる東京都の小池百合子知事＝国立競技場で



コロナ禍の中で開催された東京五輪は、何をもたらしたのか。アスリートのパフォーマンスの輝きとは裏腹に、人命の軽視や性差別、ゆがんだ歴史認識など、日本社会の遅れや矛盾が浮き彫りになった。未来に伝える遺産（レガシー）は不確かで、後世への「つけ」も懸念される。（臼井康兆）

◆運動志向後押し

大会のテレビ中継は、開会式の平均世帯視聴率が関東地区で56.4%となり、野球やサッカー、卓球なども高い関心を呼んだ。会員制交流サイト（SNS）や動画投稿アプリでは、選手自身が大会への思いや選手村の様子を伝え、「ありがとう」と開催に感謝する言葉も。

「ほぼ無観客だったが、テレビやデジタル配信に加え、選手の発信がムードを盛り上げ、世界の人々がスポーツの魅力に触れた」。五輪に詳しい原田宗彦・大阪体育大学長（スポーツマネジメント）は評価する。

コロナ禍で外出自粛が続く中、スポーツの重要性は高まり、横浜市が昨秋行った市民調査ではスポーツをする人の割合が増えたとの結果が出た。大会の新競技のスケートボードやサーフィンなどでの日本勢の活躍を挙げ、原田氏は「若い世代の運動志向の追い風になる」とみる。

◆「呪われた五輪」

しかし大会期間中、国内の感染状況は深刻化し、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の対象地域は計19都道府県に広がった。

「この状況で開催してはいけなかった。海外メディアは『呪われた五輪（the cursed games）』などと厳しい目で見ている」。海外スポーツ事情にも詳しいプロ野球楽天の元ゼネラル・マネージャー（GM）マーティ・キーナート氏は指摘する。

「安全安心」を掲げた大会で、選手や大会関係者の感染が400人超に。快適とPRした気候は猛暑続きで、熱中症の関係者が相次いだ。7000億円超とされた大会予算は、1年延期とコロ

ナ対策で1兆6000億円超に膨張。競技施設も今後の赤字が懸念される。

キーナート氏は「嘘で固めた大会で、史上最高額の五輪になる可能性が高い。国際オリンピック委員会（IOC）とテレビ局のための大会だ」と批判する。

◆理念、広まるか

大会は「復興五輪」「コロナに打ち勝った証し」など、その時々
の社会情勢に都合の良い開催意義が語られてきた。大会組織委員
会の理事で中京大の来田 享子教授（スポーツ史）は「なぜ開催
するのか、という五輪の理念に対する理解を深めようとしてこな
かった」と振り返る。

五輪憲章は、人間の尊厳を重視する平和な社会を目標に掲げ、
人種や性別、性的指向や宗教などによる差別も禁じている。しか
し東京大会では、憲章に反するような女性蔑視の発言や容姿の侮
辱、障害者いじめやユダヤ人大量虐殺へのゆがんだ認識など、大
会関係者の不祥事が相次いだ。

来田氏は「五輪は世界を映し出す鏡。コロナ禍の開催によって、
民主主義的な意思決定や人権意識など、日本社会全体の問題が表
面化した。大会を機に、本来の五輪の理念を再確認する意義はあ
る」と指摘。

「今後、五輪が掲げる理想像と現実の社会を比べ、『足りない
ものは何か』と問い続けていくことが必要だ」と話す。

東京五輪閉幕 女性蔑視、容姿や身体障害者へのやゆ、食品ロス …社会の課題浮き彫りに

東京新聞 2021年8月9日 06時00分



閉会式の最後に表示された「ARIGATO」

閉会式の最後に表示された「ARIGATO」の文字

大会中、国立競技場で取材後、渋谷駅まで歩いた。深夜にもか
かわらず、路上飲みがあちこちで行われ、一部の店では人々が密
になって酒を飲んでた。歩く人の3割程度はマスクをしていな
かった。連日、日本人選手のメダルラッシュがニュースを埋め尽
くしており、緊急事態宣言下でも、市民が危機感を抱けなかった。

開会式当日、東京都の新型コロナ新規陽性者は1359人だ
ったが、大会中に5000人超まで増えた。選手・大会関係者の陽
性も累計400人を超え、直接、間接を問わず保健医療に負担を
与えた。大会閉幕後も苦しみは続く。

選手たちはコロナや酷暑を乗り越え、勝利や自己ベストをつか
みとった。仲間と喜び、ライバルをたたえ合う姿はスポーツの素
晴らしさを改めて教えてくれた。

しかし残念ながら無断外出やマスクを外しての会話など行動
ルール「プレーブック」の違反も相次いだ。選手から運営側や支
援者への感謝の言葉はあっても、医療従事者やコロナで苦しん
でいる人への思いがほとんど発せられなかったことも残念だった。

2度目の東京五輪は日本に何をもたらしたのか。運営側は暑さ

やコロナに正面から向き合わず、大会を混乱させた。無責任体質、
パワハラ、セクハラ、女性蔑視、容姿や身体障害者へのやゆ、食品
ロス…。観戦もかなわず、将来の子や孫に自慢できるものにはな
らなかったかもしれない。

森喜朗・前組織委員会会長の女性蔑視発言に抗議し、聖火ラン
ナーを辞退した男性の言葉が印象に残っている。「私も昔は女性
を見下していたところがあった。森さんと同じだったかもしれない。
でも日本は変わっていかないと」

五輪は私たちの身近にあるさまざまな問題を照らした。聖火は
消えるが、未来のために行動する「火」はともしておきたい。（原
田遼）

東京五輪 コロナ拡大の中で閉会…他国選手と肩組む姿少なく、 参加者4500人どまり

東京新聞 2021年8月8日 23時32分



緊急事態宣言下、無観客で行われた東京五輪

の閉会式＝8日、国立競技場で



第32回夏季オリンピック東京大会は8日、東京都新宿区の国
立競技場で閉会式を行い、17日間の日程を終えた。1964年
以来2度目の東京大会は新型コロナウイルス感染症により史上
初めて1年延期され、会場のある9都道府県のうち6都道県で無観
客開催となった。期間中も大会の内外で感染は止まらず、検査陽
性により棄権を余儀なくされる選手もいた。開催地の財政的負担
や酷暑で相次いだ日程変更も含め、五輪の負の側面が強調された
大会となった。（原田遼）

蒸し暑さの残る午後8時に閉会式はスタート。盛大に花火が打
ち上がったが、観客は入っておらず、大会関係者や報道陣の拍手
だけがまばらに響いた。

205の国・地域ごとに入場した開会式と異なり、全選手団の
旗と旗手が一斉に登場。その後、選手たちは自由な順番で入場し
た。ごちゃまぜで入場する方式は、1964年の前回東京大会の
閉会式で定着し、平和の象徴として以降の五輪に引き継がれた。

ただ今回は、新型コロナ対策で周囲との「社会的距離」を取る
ように呼び掛けられているせいか、他国選手と肩を組んで歩くな
どの場面は少なく、自国の選手たちで記念撮影をするなどして楽
しんでいた。

競技終了の2日後には選手村を離れなくてはならないルール
もあり、閉会式の参加選手は約4500人で、過去大会よりは少
なかったとみられる。

それでも入場行進後、音楽やダンスが行われたステージの周り
で選手が「密」に。うだるような暑さでマスクを外す選手も少
なくなかった。マスクの義務化など選手の行動規範「プレーブック」
を作ったものの徹底はできず、暑さにも苦しめられた大会を象徴

するような光景だった。

コロナ禍ならではの取り組みも。五輪旗は小池百合子東京都知事から国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長に返され、次の開催地パリのイダルゴ市長に手渡された。通常、閉会式では次回開催地を紹介するステージがあるが、今回はパリのエッフェル塔やノートルダム大聖堂と中継をつないで行われた。

閉会のあいさつで大会組織委員会の橋本聖子会長はボランティアや医療従事者に感謝を伝えた後、「アスリートとスポーツの力によって未来への扉が開かれた。スポーツには世界と未来を変える力がある。この力がパリ大会につながれていくと信じている」と述べた。

バッハ会長は「パンデミック（世界的大流行）が始まってから全世界が一つになった」と大会を自画自賛した。

大会中も開催への論争がうずまいた異例の五輪。最後に太陽をモチーフにした聖火台が花びらのように開いた状態から元の球体に戻り、聖火は消えていった。

コロナ禍の五輪が残したものは？ 「国際感覚とのズレ」「日本の劣化」「雰囲気になされる未熟な国民性」…各界識者に聞く
東京新聞 2021年8月9日 06時00分



緊急事態宣言下、無観客で行われた東京五輪

の閉会式＝8日、国立競技場で

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）下、原則無観客など前例のない形で実施された東京五輪が8日、閉幕した。日本勢が過去最多の27個の金メダルを獲得する一方、ウイルスを抑え込むことはできず、1日当たりの新規感染者数は連日、各地で過去最多を更新している。コロナ禍での「平和の祭典」は何を残したのか、各界の識者に聞いた。（佐藤直子、中沢佳子）

◆「医療崩壊、影響を受けるのは障害者」

「政府は過去最多の金メダルを獲得して成功だったと考えているかもしれないが、それは違う。選手の努力には敬意を払うとしても、これほどの犠牲を出してまでやる必要があったのか」。元外交官の飯村豊・政策研究大学院大客員教授（外交）はこう振り返る。

感染拡大防止のために選手らを外部から遮断する「バブル方式」は機能せず、崩壊。緊急事態宣言も4度目となれば慣れが生じて人の流れは思うように減らず、全国のコロナの新規感染者数は連日、1万人を超える。五輪中止を求めるオンライン署名の呼び掛け人にもなった飯村さんは「医療崩壊で深刻な影響を受けるのは障害者。パラリンピックは中止を」と訴える。

大会組織委員会関係者の辞任、解任も続いた。飯村さんは、国際感覚の欠如が問題の背景にあると見る。「ユダヤ人虐殺をかつてコントのネタに使っていた演出家を開会式の制作チームに起用するなど感覚がずれている。日本は世界から信用を失った。政府は早急に検証委員会を立ち上げ、どこに問題があったのか議論するべきだ」

◆「男性中心の差別的な社会クリアに」

大妻女子大の田中東子教授（メディア文化論）は「男性中心で

女性に差別的な日本社会の問題が、どんな時よりクリアに見えた。五輪の予想外の収穫だった」と皮肉交じりに話す。

女性蔑視発言をした組織委の森喜朗会長と、女性タレントの容姿を侮辱する企画を提案した開閉会式の佐々木宏・演出統括が共に辞任。森会長が後任に川淵三郎・元日本サッカー協会会長を指名したのが「密室だ」との批判を受けると、今度は「女性ありき」のような雰囲気になり、橋本聖子五輪担当相が後任に決まった。

田中さんは「駄目なおじさんのツケを女性が払わされたような格好だったが、橋本さんが選ばれた過程もまた不透明だった。五輪を巡るゴタゴタは、今の日本の劣化を表している」と唱える。

◆「多額の経費 メディアは検証を」

一橋大の鶴飼哲名誉教授（フランス文学・思想）は「何が何でも、五輪は反対を押し切るように開かれた。対話を抜きに強行した時点で、平和の祭典は地に落ちた」と解説する。

2013年に開催が決まった時から反対運動に参加。五輪期間中も毎週金曜日夜、自宅がある長野県松本市の駅頭に仲間と共に立ち、道行く人らと「五輪とは」「平和とは」といったテーマで語り合った。

コロナ禍で生活に苦しむ人も多い中、今後は不況になるとの予測もある。鶴飼さんは「無観客で収入が減ったこともあり、膨大な赤字が見込まれる。多額の経費が何にいくら使われたのか、適正に執行されたのかメディアが検証する必要がある」と求めた。

「生きる希望に」「振り回された」 東京五輪、何が残り了吗か

朝日新聞デジタル 2021年8月9日 7時00分

東京オリンピック（五輪）が8日、幕を閉じた。多くのドラマで見るものを魅了した競技場の中。不要不急の外出自粛を求められたバブルの外。見るもの、参加するものの立場に応じて、異なる記憶を刻んだ。選手やその家族、ボランティア、五輪を初めてみた小学生たちは何を感じたのか。声を聞いた。

「選手の勇気が、コロナ禍を生きる希望になって」

国立競技場で案内係のボランティアをした藤本華奈さん（25）選手の悲喜こもごもを目の当たりにしました。コロナ対策で話しかけられず「Great Race」と掲げた。ボランティアも五輪を作っていく存在だと感じました。都内で研修医をしていて、8日は朝8時半まで夜勤でした。感染拡大は肌身でわかります。選手の勇気が、今後も続くコロナ禍を生きる希望になってほしい。



研修医として、国立国際医療研究センターで

勤務する藤本華奈さん＝2021年4月23日、東京都新宿区、斉藤佑介撮影 ※撮影時マスクを外しています

100人の朝食用意し、宿泊は5人「振り回された」

東京・日本橋の「住庄（すみしょう）ほてる」社長の角田隆さん（53）閉会式の放送をむなしい思いで見ました。大会組織委との契約で、当初は海外メディアを泊める予定でしたが、直前には誰が何泊するのか分からなくなってしまった。約100人分の部屋や朝食を用意して、結局、宿泊したのはのべ5人だけ。大会に関わって誇らしかったのに、今は振り回されたという思いばか

りです。



住庄ほてるの角田隆社長=2021年8月7日午後6

時、東京都中央区、遠藤隆史撮影

スーダン選手「前橋の人たちは第二の家族」

前橋市での長期合宿を経た陸上南スーダン代表のアブラハム選手(22) 開閉会式で母国の国旗が掲げられているのを見られて、大きな喜びを感じている。3日の1500メートル走では、前橋の人にとっても勇気づけられ、自己ベストを更新できた。彼らは私にとって第二の家族だ。これからも交流を続けたい。もしも南スーダンに来てくれたら、私ができる最高のおもてなしをしたい。

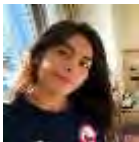


男子 1500 メートル予選を走った南スーダンのゲ

ム・アブラハム選手=2021年8月3日、国立競技場、池田良撮影

コロナ陽性で棄権した選手「五輪は私の夢だったから…」

新型コロナ陽性となり棄権したテコンドー女子チリ代表のフェルナンダ・アギーレ選手(24) 五輪は私の夢だったから、隔離中のホテルで「全てがうそであって」と涙が止まらなかった。隔離後、1日だけ選手村の美容室に行けたのが五輪の思い出です。7月末に帰国し、家族や友人と過ごすうち、もう一度競技に向き合う気持ちがわいてきた。支えてくれた人たちのためにも努力を続けたい。



フェルナンダ・アギーレ選手

小学3年生「自分もダンスを頑張ろうと思った」

最終日の聖火を見に来た千葉県市川市の小学3年生、安江莉花(りんか)さん(9) 五輪を見たのは今回が初めてで、とても楽しかったです。バスケットボールをよく見ました。女子日本代表の町田瑠唯選手がうまかった。5歳のころからチアリーディングをしていて、今日も練習しました。五輪で選手が活躍しているのを見て、自分も笑顔でカッコイイダンスができるよう頑張ろうと思いました。



千葉県市川市の小学3年生、安江莉花さん=2021

年8月8日午後3時47分、東京都江東区、藤野隆晃撮影

最年長のマラソン選手「五輪は人生のすべて。また走る」

最年長で男子マラソンを走った米国のアブディ・アブディラマン選手(44) 途中で腹がいれんして厳しいレースだった。でも41位で走り終えて幸せ。私もあなたもいずれ、歴史に刻まれた「コロナ禍の五輪」を思い出さだろう。開催してくれたこと、札幌で歓迎してくれた皆さんに心から感謝したい。五輪は私の人生のすべてであり、私は今も走ることが好き。少し休んだら、ま

た走るよ。



男子マラソンの41キロ付近を走る米国のアブ

ディ・アブディラマン選手=2021年8月8日、札幌市内、内田光撮影

ブルガリア選手たちは「孫」 コロナ後、会いに行く

ホストタウンとしてブルガリア新体操チームを支えた山形県村山市の小室けい子さん(71) 東京への応援ツアーがなくなり、20万円台の4Kテレビを買って応援しました。良い演技を見て涙、チームが金メダルになって涙。4年前の合宿中から、選手がトイレで泣き、大人になっていくのを見てきた。私の「孫」です。勇気と元気をいっぱいもらった。コロナ後、会いに行くのが次の目標です。



ブルガリア新体操チームを応援する「ゴ

ールデンガールズファンクラブ」代表の小室けい子さん=2021年8月8日、山形県村山市

海外記者「選手のありのままの姿伝えられた」

ワシントン・ポスト記者のレス・カーペンターさん(53) 五輪取材はこれで5回目。「コロナ五輪」には、延期や感染拡大で苦労した選手たちの物語が詰まっていました。いつものきらびやかな五輪と違い、選手のありのままの姿を伝えられたと思います。ただ、暑さと湿気は最悪でした。自転車BMXの競技会場は、日よけがなくてきつかった。もし観客がいたらと考えると、ぞっとします。



東京・国技館でボクシングの取材をするワ

シントン・ポストのレス・カーペンターさん=東京・国技館

銀メダリストの母「よく頑張った。おうどん食べさせてあげたい」

自転車トラック女子オムニウムで銀メダルを獲得した梶原悠未選手の母、有里さん(49) 「銀メダルで、金を取れなくてごめんね」って、涙を浮かべて娘に言われました。本当に悔しかった。でも落車してもまた自転車にまたがる姿、カッコよかった。苦しい練習に耐えてきたのを横でずっと見てきて、よく頑張ったと思います。おうどんを食べさせて、ゆっくり休ませてあげたい。



「悠未(選手)より悔しがつちゃいけない」と笑顔

を見せる母、梶原有里さん=2021年8月8日、静岡県伊豆市

バスケット女子の主将「大会がなければ、この結果はなかった」

バスケットボール女子で初の銀メダルを獲得した高田真希主将(31) 金メダルを目標にしていたので少し悔しいけれど、誇らしいです。点差が離れても自分たちのバスケットは徹底できた。体が小さくても、海外の選手に勝てるんだと証明できたことはいはうれしいです。大会が開かれなければ、この結果もなかった。たくさんの方々との協力で開催されたことに感謝しています。



銀メダルを手にするバスケットボール女子日本代表の高田真希主将

2021年8月8日、さいたまスーパーアリーナ、杉本康弘撮影

パリ組織委 CEO「東京は世界の『首都』になった」

2024年に開かれるパリ五輪組織委員会のエチエンヌ・トボワ最高経営責任者(CEO) 厳しい状況で五輪を実現させ、日本の能力を示した。この2週間ほどで、東京は世界の「首都」になった。選手村で見た、世界の選手たちの幸せな表情が忘れられない。省庁など複数の組織が統合して輸送や警備に取り組む姿や、馬を休ませる空調がきいた部屋など、暑さ対策も参考になった。



パリ五輪組織委のエチエンヌ・トボワ事務総長

大会運営は「合格点」 今後のコロナ拡散懸念—韓国メディア・東京五輪

時事通信 2021年08月09日 11時54分



東京五輪の野球準決勝戦を前に国歌を聴く韓国選手ら=4日、横浜スタジアム (AFP時事)

【ソウル時事】韓国の聯合ニュースは8日、東京五輪を総括する東京発の記事を配信し、「冬・夏季五輪を4回行う先進国らしく、大会運営の面では合格点をもらうに十分だった」と称賛した。「判定や競技運営でも大きな問題はなかった」と評価し、治安の良さやドーピング違反の減少も挙げた。

一方で、「選手だけで1万人以上集まった五輪が日本国内の新型コロナウイルス拡散にどのぐらい影響を及ぼすのか、選手団や大会関係者が自国に戻ってコロナが世界の各地に広がるのか、予測が難しい」と指摘。五輪開催による感染状況への影響の程度が「大会の成功、失敗を左右する尺度になる」と論じた。

また、日本の政治状況にも触れ、「五輪が終わった後の支持率の推移が菅義偉首相の命運を左右するとみられる」と分析。自民党総裁選と衆院選を控える中、「菅首相は五輪開催を強行し、何とか完走はしたが、眠れない夜が続く」と伝えた。

コロナ下開催に評価の声 制限に苦戦、触れた親切—外国人記者の東京五輪

時事通信 2021年08月09日 07時35分



東京都内の五輪メインプレスセンターで作業

する外国人記者ら=7日

新型コロナウイルス感染が拡大する中、ほぼ無観客で行われた東京五輪について、取材した外国人記者からは、「この状況下でよくやり遂げた」と評価する声が上がった。厳しい取材・行動制限に縛られた日本滞在は「大変だった」と語る記者や、取材の合間に触れた日本人の優しさに感動した記者もいた。

◇「大会は成功」

「難しい条件下でよく準備した。状況は最悪だったとしても大会は成功だと思う」。冬季を含め8回の五輪取材したスロバキア紙のイボール・レホタン記者(55)は東京五輪をこう総括した。

外国人記者は入国後、ホテルで3日間の隔離が義務付けられ、その後も11日間はホテルと会場での取材だけの日々が続いた。インド由来のデルタ株の猛威で東京を中心に感染が広がる中、外出は厳しく制限された。

レホタン記者も「隔離生活」はこたえたようだ。「過去の五輪では街中やレストラン、バーなどどこへでも行け、同僚とビールも飲めた」が、今回はホテルで1人ビールを飲んだだけ。「旅行ではなく仕事で来たからね。これが私たちの試合さ」と吹っ切った。

◇差別を受けた感情も

「無観客だったのは日本にも、われわれにも残念だった」と話すのは、英紙メール・オン・サンデーのオリバー・ホルト記者(55)。ただ、英国代表には好成績を収めた選手も多く、「アスリートに大きな影響はなかったかもしれない」と分析した。

これまで何度も来日経験があるホルト記者にとっても隔離生活は大きな負担だった様子。滞在した銀座のホテルでは、正面玄関やホテル内のレストランの利用が許されなかった。「神経質になるのは理解するが、一種の差別を受けているようにも感じた」とこぼした。

◇交流が思い出に

スイス紙のジェローム・レイナード記者(35)は無観客試合を取材。スイスでも無観客試合は多くなっており、雰囲気には「もう慣れた」という。五輪取材は2回目だが、今回は「競技に集中した。興奮はアスリートから直接伝わってきた」と話した。

初来日だったレイナード記者は、14日間の制限措置後に外出した際、日本人と触れ合った思い出も語った。来日前は五輪開催への反発から外国人への警戒感が強まっていると聞いていたが、「レストランで注文を助けてくれ、『滞在を楽しんで』と声を掛けてくれた」と述べ、日本人の親切心に感動したと振り返った。